NECデータプロジェクター

ViewLight®
ビューライト

NP4100J/NP4100WJ

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

詳しい目次は、12, 13ページにあります。

はじめに

このたびは、NECデータプロジェクターNP4100J/NP4100WJ（以降「NP4100J/NP4100WJ本体」を「本機」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、パソコンやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本書は、NP4100J/NP4100WJ共通の取扱説明書です。NP4100Jを主に説明しています。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

※ モデル名について
本機に貼付しているラベルでは、モデル名を「NP4100」または「NP4100W」と表記しています。
取扱説明書では、モデル名を「NP4100J」または「NP4100WJ」と末尾に「J」を付けて表記しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご注意

（１）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（２）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（３）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（４）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（３）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（５）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。**

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

本機は日本国内専用です

国内では交流100ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。
  添付の電源コードを使用してください。
  日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
  詳細に関してはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に

- 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - ・コードの上に重い物をのせない
  - ・コードをプロジェクターの下敷きにしない
  - ・コードの上を敷物などで覆わない
  - ・コードを傷つけない、加工しない
  - ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - ・コードを加熱しない

  電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NECプロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NECプロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない

水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - ・風呂やシャワー室で使用しない
  - ・プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - ・プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

  万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

次のような所では使用しない

- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・暖房の近くや振動の多い所
  - ・湿気やほこりの多い場所
  - ・油煙や湯気の当たるような場所
  - ・調理台や加湿器のそば

⚠警告

内部に物を入れない

異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。
  火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
  万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない

分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
  また改造しないでください。火災・感電の原因となります。
  内部の点検・調整・修理はNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。
  感電の原因となります。

天吊りの設置について

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない

レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

ランプ交換やカラーホイール交換は電源を切ってから

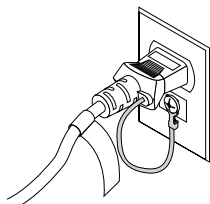
電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換やカラーホイールの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。
  動作中や停止直後にランプやカラーホイールを交換すると高温のため、やけどの原因となります。
  ランプ交換は106ページをご覧ください。
  カラーホイール交換は117ページをご覧ください。

動作中にレンズにふたをしない

- 動作中にレンズにふたをしないでください。
  ふたの部分が高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置かないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。

⚠注意

機器のアースは確実にとってください

● 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は43ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない

ぬれた手は危険

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

● プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。
火災の原因となることがあります。
プロジェクターを設置する場所は周囲から適切な空間をあけてください。
（ 9ページ）

移動するときは電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運ぶときはキャリングハンドルを持つ

● プロジェクターを持ち運ぶときはキャリングハンドルを持ってください。落としたりしてけがをするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

レンズシフト動作中は指の挟み込みに注意

● レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。
キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

⚠注意

投写中および投写終了直後は排気口を触らない

- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- 本機のLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
  - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
  - ・指定以外の電池は使用しない
  - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
  - ・電池を入れるときは、極性(＋と－の向き)に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について

内部の清掃はNECプロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃をNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。
  特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましてはNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

レーザー光源をのぞかない

- レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けないでください。
  レーザー光が目に当たると目を痛める原因となることがあります。
  お子様には使用させないでください。

電源コードはコンセントに接続する

- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

お願い

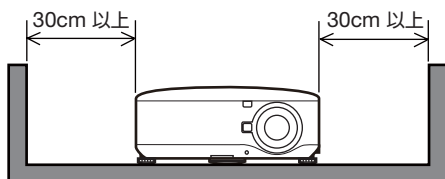
性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
  動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
  振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
  高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機は、本体を左右方向に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
  また、本体を前後方向に傾ける設置角度に制限はありませんが、設置角度に応じて［ファンモード］の［設置方向］を設定してください。（97ページ）

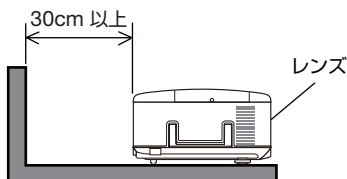
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  - ・たばこの煙･ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(5時間／日または260日／年を超えて）使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
  - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ランプ選択」および「ランプ切替時間」を設定してください。（90, 91ページ）
- 標高約1500m以上の場所で本機を使用する場合は、必ず「ファンモード」を「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
  外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
  スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
  - ・本体はキャリングハンドルを持って移動してください。
  - ・レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
  - ・振り回したりして、プロジェクター本体に強い衝撃を与えないでください。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
  また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。
- 廃棄について
  本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

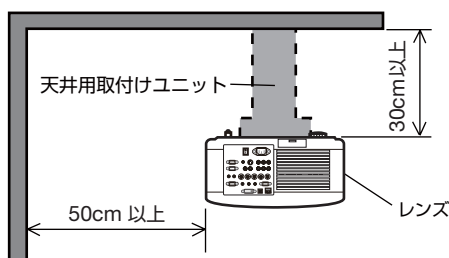
設置する際の周囲との距離についての注意

本機を設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。
本機から出た高温の排気が再び本機に吸気される場合があります。
また、エアコンから吹き出された風が本機に当たらないようにしてください。
本機の温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。

例1：本機の左右に壁がある場合

（注）左の図において、プロジェクター本体の前方、後方、および上方は十分な空間があるものとします。

例2：本機の後方に壁がある場合

（1）床置きの場合

（注）左の図において、プロジェクター本体の前方、両横、および上方は十分な空間があるものとします。

（2）天吊りの場合

（注1）上の図において、プロジェクター本体の前方、両横、および下方は十分な空間があるものとします。
（注2）天井から30cm未満の距離で本機を天吊りする場合は、四方および下方に十分な空間を作ってください。

（3）打ち上げ／打ち下げの場合
本機を打ち上げする場合は、排気口と壁との間隔を1m以上空けてください。
また、本機を打ち下げする場合は、排気口と壁との間隔を50cm以上空けてください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
  アスペクト、台形補正、MAGNIFY などの機能を使用する場合はご注意ください。

別売のレンズユニット取り扱い上の注意

- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。

ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
  なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずNECプロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- ダイレクトパワーオフは、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行ってください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機のAC IN端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中にAC電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- ランプ点灯後約１分間はAC電源を切断しないでください。ランプ交換時間(目安)※が短くなります。
  ※保証時間ではありません。
- 本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中は、電源プラグをコンセントから抜くことができます。
  電源を切ったあとの冷却ファン回転中に、電源プラグをコンセントから抜くと、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

本書の表記について

マークの意味

マーク	意味
重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
注意	注意や制限事項を表しています。
参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

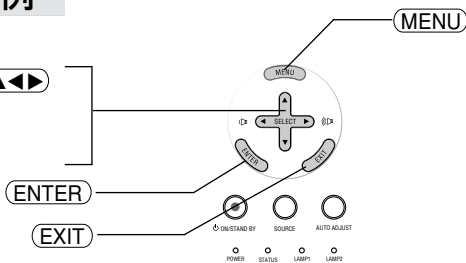
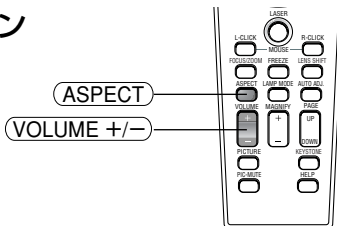
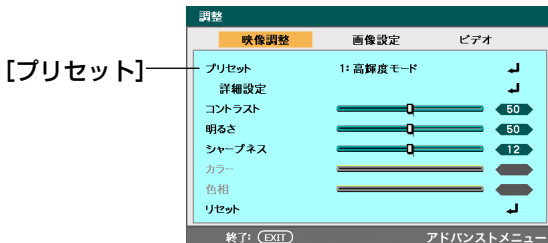
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

上下左右の場合：SELECT ▼▲◀▶

左右の場合：SELECT ◀/▶

下の場合：SELECT ▼

MENU

メニュー項目の表記例

●本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

目次

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

●DLP方式の高輝度プロジェクター

DLP方式を採用し、高輝度を実現しました。
NP4100WJは、WXGAリアル解像度（1280×800ドット）に対応しています。

機種名	チップサイズ	解像度	アスペクト比
NP4100J	0.7型	1024×768ドット	4：3
NP4100WJ	0.65型	1280×800ドット	16：10

●設置場所に応じて選べる豊富なオプションレンズ

本機は、5種類のオプションレンズに対応しています。
様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。
また、レンズユニットの取り外し／取り付けが簡単に行えます。

●2つのランプを同時に搭載し、高輝度投写または長時間の稼働が可能

本機には同時に2つのランプをセットすることができます。2つのランプを同時に光らせて高輝度投写をしたり、1つずつのランプを光らせることによってランプ交換作業の周期を伸ばすことができます。

●電動レンズコントロールで容易な画面調整

操作ボタンやリモコンの操作で、投写画面のズーム、フォーカス、位置調整ができます。

●カラーホイールの4 Segmentと6 Segmentを交換可能

本機の工場出荷時は、カラーホイール（4 Segment）が装着されています。投写する映像ソースの種類や色合いに応じて、添付のカラーホイール（6 Segment）と交換することができます。

●電源の入／切をスピーディーに行う、オートパワーオン（AC）機能／ダイレクトパワーオフ機能

本機に電源が供給されたときに、自動的に電源が入るようにすることができます（オートパワーオン（AC））。投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC電源を切断することができます（ダイレクトパワーオフ）。

(注) ダイレクトパワーオフは、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行ってください。ダイレクトパワーオフを行うと、そのあと電源を入れたときにランプが点灯するまでの時間が長くなることがあります。

●LANポートを標準装備

本機はLANポート（RJ-45）を標準装備しています。

●DVI（デジタル）やBNCなどの豊富な入出力端子、ステレオスピーカ内蔵

アナログRGB、5芯のBNC、DVI（デジタル）、ビデオ、S-ビデオなど、豊富な入出力端子を装備しています（アナログRGBとBNCは、コンポーネント入力にも対応しています）。
また、3W+3Wのステレオスピーカを内蔵しており、高画質、高音質な視聴が行えます。

●特定色を調整＆記憶できる、プリセット機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。
6つの映像モードから選択できます。また、お客様が設定した状態を本体内のメモリに記憶できます。

●パスワードを設定して、他人の無断使用を防止

パスワードを設定することにより、無断で本機を使用できないできないようにすることができます。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	プロジェクター（本機） パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。 **レンズホールキャップ** 本機に別売のレンズユニットが装着されていないときは、レンズホールキャップを取り付けてください。
	リモコン（79TD5521） 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単3アルカリ乾電池2本をセットしてください。（ 26ページ） **単3アルカリ乾電池（リモコン用）2本** 添付のリモコンにセットします。
	電源コード（79TD5691） AC100Vのコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。
	リモコンケーブル（79TD5481） 本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます。（ 27ページ）
	レンズユニット盗難防止用ネジ（79TD5811） 本機に装着しているレンズユニットを簡単に取り外されないようにします。（ 33ページ）
	カラーホイール（6 Segment）（79TD5371） 本機の工場出荷時は、カラーホイール（4 Segment）が装着されています。投写する映像ソースの種類や色合いに応じて、カラーホイール（6 Segment）と交換してください（ 117ページ）。

次ページに続く

取扱説明書（本書）（7N8P9242）
本機の使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。

クイックスタートガイド（7N8P9251）
機器の接続、電源「オン」、投写画面の調整など、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。

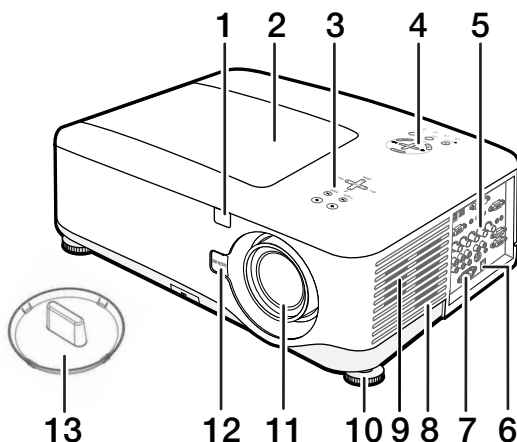
保証書
プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。

ビューライトクラブ申込書
ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。

※添付している黄色い台紙の小さなシールは、アメリカで使用するものです。日本では使用できません。

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面

1 リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。（26ページ）
本体の前面と背面の2箇所にあります。

2 ランプカバー
ランプまたはカラーホイールを交換するときこのカバーを外します。
（107, 117ページ）

3 フォーカス、ズーム、レンズシフト調整ボタン
（21ページ）

4 本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
（20ページ）

5 接続端子部
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。（22ページ）

6 主電源スイッチ
主電源スイッチを「I（入）」にすると、スタンバイ状態になります。（45ページ）

7 AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。
（43ページ）

8 吸気口／フィルタ
内部にほこりやゴミが入るのを防止します。
（103ページ）
フィルタは、前部・後部・右部の計3箇所にあります。

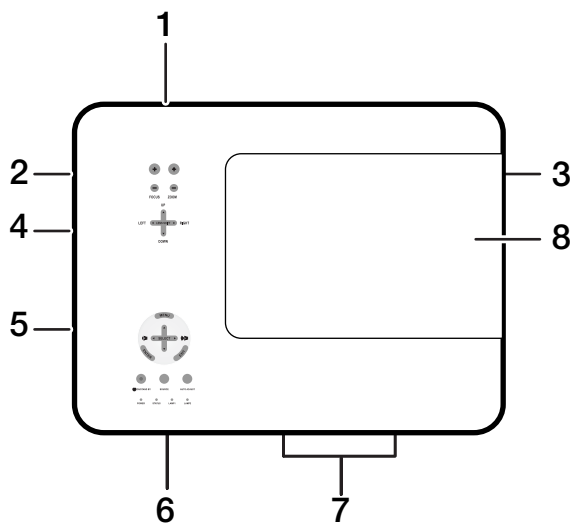
9 スピーカ（ステレオ）
本機の各種音声入力端子から入力された音声を出力します。（57ページ）
本機の左右の側面に1つずつあります。

10 チルトフット（左・右）
チルトフットを回すと上下に伸縮できます。
チルトフットを使って投写角度を調整します。（53ページ）

11 レンズ
ここから映像が投写されます。
レンズユニットは別売です。（28ページ）

12 レンズリリースボタン
レンズユニットを取り外す際に押します。
（33ページ）

13 レンズホールキャップ
本機に別売のレンズユニットが装着されていないときは、レンズホールキャップを取り付けてください。

本体上面

1 レンズユニット

2 スピーカ（左）

3 スピーカ（右）

4 吸気口（左部）

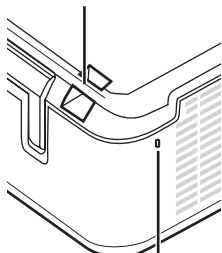
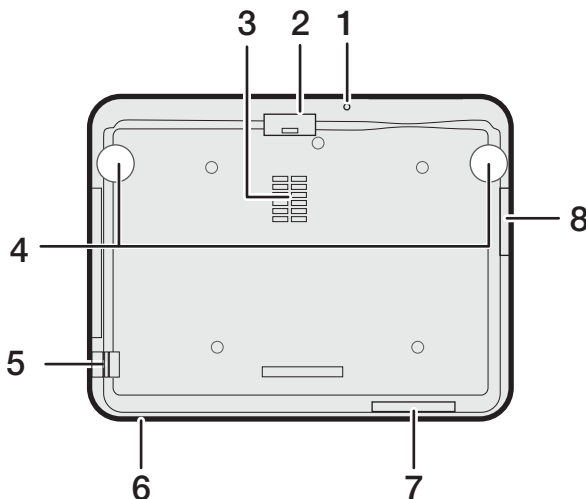
5 接続端子部

6 吸気口（後部）

7 排気口

ランプの熱を排気します。

8 ランプカバー

本体底面

1 レンズユニット盗難防止用ネジ穴
（33ページ）

2 フィルタ（前部）

3 吸気口

4 チルトフット

5 セキュリティバー
盗難防止用チェーン（またはワイヤー）を取り付けます。

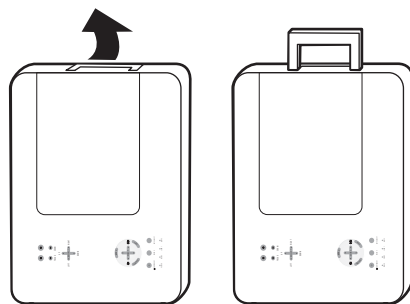
6 盗難防止用ロック
（参考）

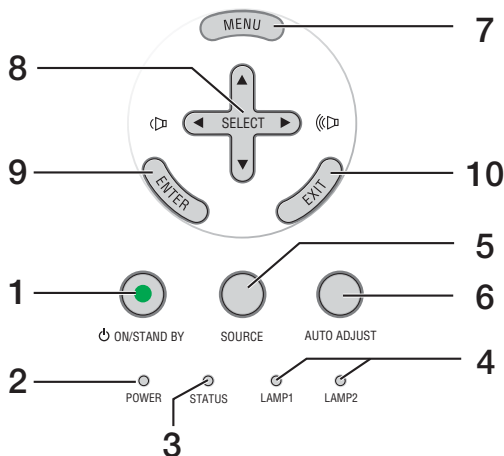
7 フィルタ（後部）

8 フィルタ（右部）

●本機を移動する際の注意

本機を移動するときは、図のように本体を立て、キャリングハンドルを起こしてからキャリングハンドルを持って運んでください。

- 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付けてください。
- 本体を立てるときは、本体を持って立ててください。出した状態でキャリングハンドルに強い力を加えると破損の原因となります。

- 盗難防止用ロックについて
  盗難防止用ロックは、キーケーブルロックなどのセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。
  日本ポラデジタル株式会社　第3営業部
  〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号　はごろもビル
  Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

本体操作部

1 POWER (ON/STAND BY) ボタン
本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。電源を切るときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度POWER (ON/STAND BY) ボタンを押します。

2 POWERインジケータ
電源が入っているときは緑色に点灯します。(➡45ページ)。
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ
本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。(➡115ページ)

4 LAMP1/LAMP2インジケータ
ランプ1またはランプ2の交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします。(➡115ページ)

5 (SOURCE) ボタン
「信号選択画面」を表示します。
コンピュータ1、コンピュータ2、コンピュータ3、コンポーネント、ビデオ、Sビデオの入力を切り替えます。

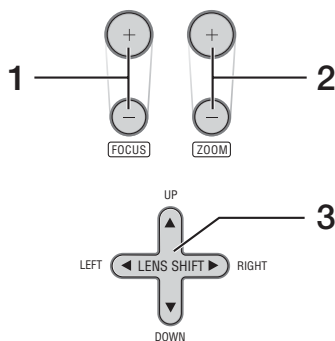
6 (AUTO ADJUST) ボタン
コンピュータ1、コンピュータ2、またはコンピュータ3のパソコン画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(➡56ページ)

7 (MENU) ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。(➡74ページ)

8 (SELECT ▼▲◀▶) ボタン(音量調整ボタンを兼用)
- オンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。(➡74ページ)
- (MAGNIFY +/−) ボタンを使った画面拡大の表示位置の調整に使用できます。(➡62ページ)
- オンスクリーンメニューや画面拡大などを表示していないときは、(SELECT ◀/▶) ボタンで音量の調整ができます。(➡57ページ)

9 (ENTER) ボタン
オンスクリーンメニューを表示しているときに (ENTER) ボタンを押すと、項目を決定します。(➡74ページ)

10 (EXIT) ボタン
オンスクリーンメニューを表示しているときに (EXIT) ボタンを押すと、メニューを閉じます。

フォーカス、ズーム、レンズシフト調整ボタン

1 FOCUS +/– **ボタン**

投写画面のピントを合わせます。（51ページ）

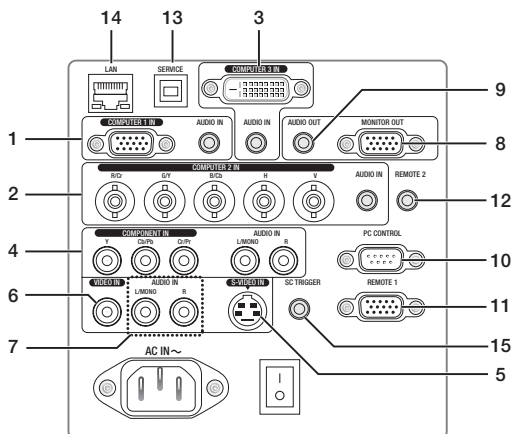
2 ZOOM +/– **ボタン**

投写画面の大きさの微調整を行います。（52ページ）

3 LENS SHIFT ▼▲◀▶ **ボタン**

投写画面の位置を上下左右に移動します。（50ページ）

	レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

接続端子部

（注）接続端子部のイラストが実物と多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1 **コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1 IN）（ミニD-Sub 15ピン）**
パソコンのディスプレイ出力端子と接続します。（36，41ページ）

音声入力端子（AUDIO IN）（ステレオ・ミニ）
本機のコンピュータ1映像入力端子と接続したパソコンの音声出力端子と接続します。（36ページ）

2 **コンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2 IN）（BNC 5芯）**
市販のBNCケーブル（5芯タイプ）を使用して、パソコンのディスプレイ出力端子や、DVDプレーヤの色差出力端子（DVD映像出力）などと接続します。（36ページ）

音声入力端子（AUDIO IN）（ステレオ・ミニ）
本機のコンピュータ2映像入力端子と接続したパソコンやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します。（36ページ）

3 **コンピュータ3映像入力端子（COMPUTER 3 IN）（DVI-D 24ピン）**
パソコンのDVI出力端子と接続します。（36ページ）

音声入力端子（AUDIO IN）（ステレオ・ミニ）
本機のコンピュータ3映像入力端子と接続したパソコンの音声出力端子と接続します。（36ページ）

4 **コンポーネント映像入力端子（COMPONENT IN）（RCA-フォノ）**
DVDプレーヤなどのコンポーネント映像出力端子などと接続します。（40ページ）

音声入力端子（AUDIO IN）（RCA-フォノ）
本機のコンポーネント映像入力端子と接続したDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します。（40ページ）

5 **S-ビデオ映像入力端子（S-VIDEO IN）（ミニDIN-4ピン）**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します。
（39ページ，41ページ）

6 **ビデオ映像入力端子（VIDEO IN）（RCA-フォノ）**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します。
（39ページ，41ページ）

7 **S-ビデオ／ビデオ音声入力端子（AUDIO IN）（RCA-フォノ）**
ビデオデッキやDVDプレーヤなどの音声出力端子と接続します。（39ページ）

8 モニタ出力端子（MONITOR OUT）（ミニD-Sub 15ピン）

コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1 IN）、コンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2 IN）、およびコンポーネント映像入力端子（COMPONENT IN）のうち、投写されている映像信号を出力します。
（➡ 38ページ）

9 音声出力端子（AUDIO OUT）（ステレオ・ミニ）

- 本機から投写されている映像の音声信号を出力します。
- 音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。（➡ 38ページ）

10 PCコントロール端子（PC CONTROL）（D-Sub 9ピン）

パソコンから本機を操作するときに使用します。

- オンスクリーンメニューの［PCコントロール］で「PC CONTROL」を選択してください。

11 リモート1端子（REMOTE 1）（ミニD-Sub 15ピン）

外部からコントロールするときに使用します。

12 リモート2端子（REMOTE 2）（ステレオ・ミニ）

添付のリモコンケーブルを使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します。（➡ 27ページ）

- リモート2端子（REMOTE 2）にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。

13 USBポート（SERVICE）（タイプB）

メンテナンス用の端子です。
メンテナンス以外の用途では使用できません。

14 LANポート（LAN）（RJ-45）

本機をLANに接続すると、本機のHTTPサーバ機能を利用し、パソコンでWebブラウザを使用して本機を制御することができます。
（➡ 42, 70, 72ページ）

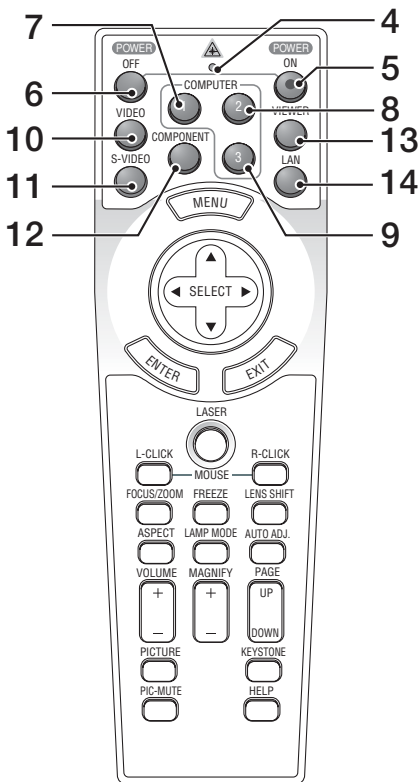
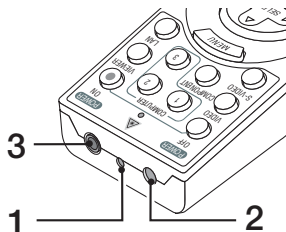
- オンスクリーンメニューの［PCコントロール］で「LAN」を選択してください。

15 スクリーン・トリガ端子（SC TRIGGER）（ステレオ・ミニ）

本機の電源を入れると、スクリーンの制御電圧が出力されます。
本機の電源の入／切に応じて、スクリーンの上げ下げなどの制御を行う場合に、スクリーンコントローラーなどの機器に接続します。制御電圧の使用については「スクリーン・トリガ端子の仕様」（➡ 122ページ）をご覧ください。

注意

- 誤ってスクリーン・トリガ端子にリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

1-4. リモコン各部の名称

1 レーザー発光部
(LASER) ボタンを押すとレーザーポインタの光を発射します。

> ⚠警告
> **レーザー光は人に向けないでください。**
> **目を痛める原因となります。**

2 リモコン送信部
(LASER) ボタン以外のボタンを押すと赤外線によるリモコン信号が送信されます。
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

3 リモコンケーブル接続端子
本機とリモコンを添付のリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます。

4 リモコン送信中インジケータ
赤外線送信中およびレーザーポインタ発光中は赤く点灯します。

5 POWER (ON) ボタン
2秒以上押して、スタンバイ時（POWERインジケータがオレンジ色に点灯）に本機の電源を入れます。

6 POWER (OFF) ボタン
一度押すと画面に確認メッセージが表示されます。
続いてもう一度POWER (OFF) ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

7 (COMPUTER 1) ボタン
コンピュータ1入力を選択します。

8 (COMPUTER 2) ボタン
コンピュータ2入力を選択します。

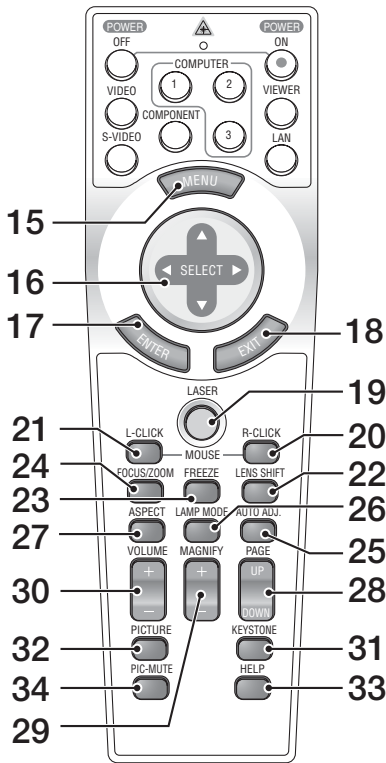
9 (COMPUTER 3) ボタン
コンピュータ3入力を選択します。

10 (VIDEO) ボタン
ビデオ入力を選択します。

11 (S-VIDEO) ボタン
S-ビデオ入力を選択します。

12 (COMPONENT) ボタン
コンポーネント入力を選択します。

13 (VIEWER) ボタン
本機では動作しません。

14 (LAN) ボタン
本機では動作しません。

15 (MENU) **ボタン**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

16 (SELECT ▼▲◀▶) **ボタン**
オンスクリーンメニュー操作や(MAGNIFY＋/－)ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。
また、別売のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、マウスカーソルを操作します。

17 (ENTER) **ボタン**
オンスクリーンメニューを表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は,項目を決定します。

18 (EXIT) **ボタン**
オンスクリーンメニューを表示中は、前の階層のメニューに戻ります。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

19 (LASER) **ボタン**
レーザーポインタが発光します。

20 (R-CLICK) **ボタン**
別売のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。マウスの右ボタンの動作をします。

21 (L-CLICK) **ボタン**
別売のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに、パソコンを操作するボタンです。マウスの左ボタンの動作をします。

22 (LENS SHIFT) **ボタン**
(LENS SHIFT)ボタンを押すと、レンズシフト調整画面を表示します。
続いて(SELECT ▼▲◀▶)ボタンを押してレンズシフトを行います。

23 (FREEZE) **ボタン**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(61ページ)

24 (FOCUS/ZOOM) **ボタン**
1回押すとフォーカス調整画面を表示します。もう1回押すとズーム調整画面を表示します。
フォーカス調整画面またはズーム調整画面表示中に(SELECT ◀/▶)ボタンを押して調整します。

25 (AUTO ADJ.) **ボタン**
コンピュータ1、コンピュータ2、またはコンピュータ3の画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(56ページ)

26 (LAMP MODE) **ボタン**
ランプモード選択画面を表示します。
(63ページ)

27 (ASPECT) **ボタン**
アスペクト調整項目を表示します。
(84ページ)

28 (PAGE UP/DOWN) **ボタン**
別売のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどに使用します。(66ページ)

29 (MAGNIFY＋/－) **ボタン**
画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。
(62ページ)
・NP4100WJでは、このボタンは動作しません。

30 (VOLUME ＋/－) **ボタン**
内蔵スピーカの音量と音声出力端子(AUDIO OUT)の音量を調整します。
(57ページ)

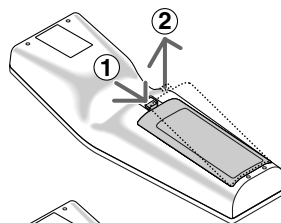
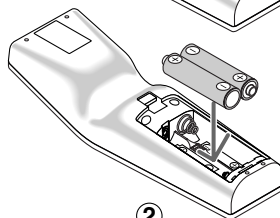
31 (KEYSTONE) **ボタン**
上下左右方向の台形歪みを調整します。
(54ページ)

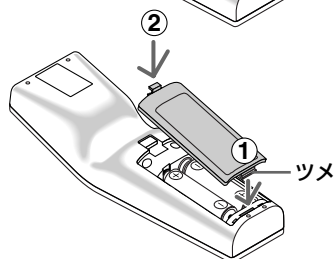
32 (PICTURE) **ボタン**
(PICTURE)ボタンを押すごとに、プリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相 の各調整画面が順番に表示されます。(81, 83ページ)

33 (HELP) **ボタン**
情報画面を表示します。(64ページ)

34 (PIC-MUTE) **ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(61ページ)

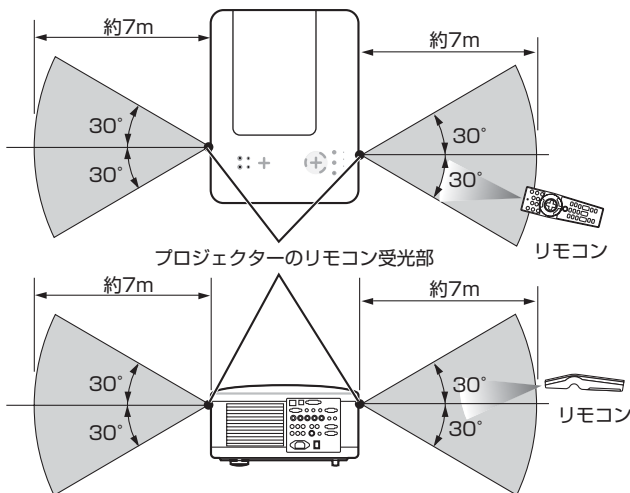
●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。

2 ケース内部に印刷されている＋、－の向きに合わせて単3アルカリ乾電池をセットする。

3 もとどおりにふたをする。

ふたのツメをケースのみぞに入れてからふたを閉めます。

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3アルカリ乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

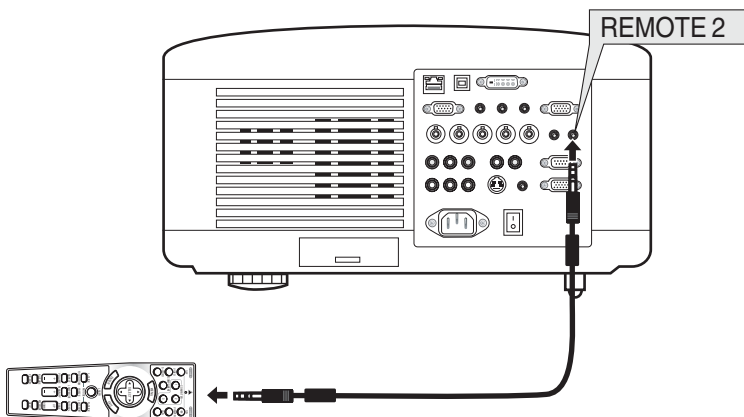
リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。
リモコン信号をスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【受光範囲】

(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

- 本体のリモコン受光部を前面のみ、後面のみ、または前面／後面に切り替えることができます。（94ページ）

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、有効範囲外でリモコン操作するときは、添付のリモコンケーブルを使用してください。

●リモコンケーブルで本機とリモコンを接続すると、赤外線でのリモコン操作はできなくなります。

●リモコンの使用上の注意

- 赤外線送信の場合、本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 赤外線送信の場合、本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- レーザーポインタの使用上のご注意については、「4-8. レーザーポインタを使う」(58ページ) をご覧ください。

2. 別売のレンズユニットを取り付ける

本機は、5種類の別売レンズユニットが使用できます。このページの情報を参考にして、お客様の設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお買い求めください。また、レンズユニットの取り付け方法は、32ページをご覧ください。

2-1. レンズユニットの種類と投写距離

●NP4100Jの投写距離

単位：m

スクリーンサイズ			レンズの形名				
型	幅	高さ	NP06FL	NP07ZL	NP08ZL	NP09ZL	NP10ZL
40	0.81	0.61		1.06〜1.44	1.42〜1.89	1.76〜3.61	3.54〜6.78
50	1.02	0.76	0.78	1.34〜1.82	1.79〜2.38	2.23〜4.54	4.45〜8.51
60	1.22	0.91	0.94	1.61〜2.19	2.16〜2.87	2.70〜5.47	5.37〜10.24
67	1.36	1.02	1.06	1.81〜2.45	2.42〜3.21	3.02〜6.13	6.01〜11.45
72	1.48	1.10	1.14	1.94〜2.63	2.60〜3.45	3.26〜6.59	6.47〜12.32
80	1.63	1.22	1.27	2.17〜2.93	2.90〜3.84	3.63〜7.34	7.21〜13.70
84	1.71	1.28	1.34	2.28〜3.08	3.05〜4.04	3.82〜7.71	7.57〜14.39
90	1.83	1.37	1.44	2.44〜3.30	3.27〜4.33	4.10〜8.27	8.12〜15.43
100	2.03	1.52	1.60	2.72〜3.68	3.64〜4.82	4.56〜9.20	9.04〜17.16
120	2.44	1.83	1.93	3.27〜4.42	4.38〜5.80	5.50〜11.06	10.88〜20.62
150	3.05	2.29	2.42	4.10〜5.54	5.49〜7.26	6.90〜13.85	13.63〜25.81
180	3.66	2.74	2.91	4.93〜6.65	6.60〜8.73	8.30〜16.64	16.38〜31.00
200	4.06	3.05	3.24	5.48〜7.40	7.34〜9.70	9.23〜18.50	18.22〜34.46
210	4.27	3.20		5.76〜7.77	7.71〜10.19	9.70〜19.43	19.14〜36.19
240	4.88	3.66		6.59〜8.89	8.83〜11.66	11.10〜22.22	21.89〜41.38
261	5.30	3.98		7.17〜9.67	9.60〜12.68	12.08〜24.18	23.82〜45.01
270	5.49	4.11		7.42〜10.00	9.94〜13.12	12.50〜25.01	24.64〜46.57
300	6.10	4.57		8.25〜11.12	11.05〜14.59	13.90〜27.80	27.40〜51.76
350	7.11	5.33		9.63〜12.98	12.90〜17.03	16.24〜32.46	31.98〜60.41
400	8.13	6.10		11.02〜14.84	14.75〜19.47	18.57〜37.11	36.57〜69.06
450	9.14	6.86		12.40〜16.70	16.60〜21.91	20.90〜41.76	41.16〜77.71
500	10.16	7.62		13.78〜18.56	18.46〜24.35	23.24〜46.41	45.75〜86.36

● 画面サイズからの投写距離算出法　（"H"はスクリーンの幅）

NP06FL レンズユニットの投写距離（m）＝H×0.808−0.042
0.78m（最小）〜 3.24m（最大）

NP07ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×1.361−0.047〜H×1.831−0.046
1.06m（最小）〜 18.56m（最大）

NP08ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×1.823−0.064〜H×2.403−0.062
1.42m（最小）〜 24.35m（最大）

NP09ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×2.298−0.105〜H×4.579−0.107
1.76m（最小）〜 46.41m（最大）

NP10ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×4.516−0.135〜H×8.514−0.140
3.54m（最小）〜 86.36m（最大）

●NP4100WJの投写距離

単位：m

スクリーンサイズ			レンズの形名				
型	幅	高さ	NP06FL	NP07ZL	NP08ZL	NP09ZL	NP10ZL
40	0.86	0.54		1.14〜1.55	1.53〜2.04	1.90〜3.89	3.81〜7.28
50	1.08	0.67	0.84	1.44〜1.95	1.93〜2.56	2.40〜4.89	4.79〜9.13
60	1.29	0.81	1.02	1.73〜2.35	2.32〜3.08	2.90〜5.89	5.78〜10.98
67	1.44	0.90	1.14	1.94〜2.63	2.60〜3.45	3.25〜6.59	6.47〜12.28
72	1.55	0.97	1.23	2.09〜2.83	2.80〜3.71	3.51〜7.09	6.97〜13.21
80	1.72	1.08	1.37	2.33〜3.15	3.12〜4.13	3.91〜7.89	7.75〜14.69
84	1.81	1.13	1.44	2.45〜3.31	3.28〜4.34	4.11〜8.29	8.15〜15.43
90	1.94	1.21	1.54	2.62〜3.55	3.52〜4.66	4.41〜8.89	8.74〜16.54
100	2.15	1.35	1.72	2.92〜3.95	3.91〜5.18	4.91〜9.89	9.73〜18.40
120	2.58	1.62	2.07	3.52〜4.75	4.71〜6.23	5.91〜11.89	11.70〜22.10
150	3.23	2.02	2.60	4.41〜5.95	5.90〜7.80	7.42〜14.88	14.66〜27.66
180	3.88	2.42	3.13	5.30〜7.14	7.09〜9.38	8.92〜17.88	17.62〜33.22
200	4.31	2.69	3.48	5.89〜7.94	7.88〜10.43	9.92〜19.88	19.59〜36.93
210	4.52	2.83		6.19〜8.34	8.28〜10.95	10.43〜20.88	20.58〜38.78
240	5.17	3.23		7.08〜9.54	9.47〜12.52	11.93〜23.88	23.54〜44.34
261	5.62	3.51		7.70〜10.38	10.31〜13.62	12.98〜25.98	25.61〜48.23
270	5.82	3.63		7.97〜10.74	10.67〜14.10	13.44〜26.87	26.50〜49.90
300	6.46	4.04		8.86〜11.94	11.86〜15.67	14.94〜29.87	29.46〜56.46
350	7.54	4.71		10.35〜13.93	13.84〜18.29	17.45〜34.87	34.39〜64.72
400	8.62	5.38		11.83〜15.93	15.83〜20.91	19.96〜39.87	39.32〜73.99
450	9.69	6.06		13.32〜17.93	17.82〜23.54	22.46〜44.86	44.25〜83.26
500	10.77	6.73		14.81〜19.93	19.80〜26.16	24.97〜49.86	49.19〜92.52

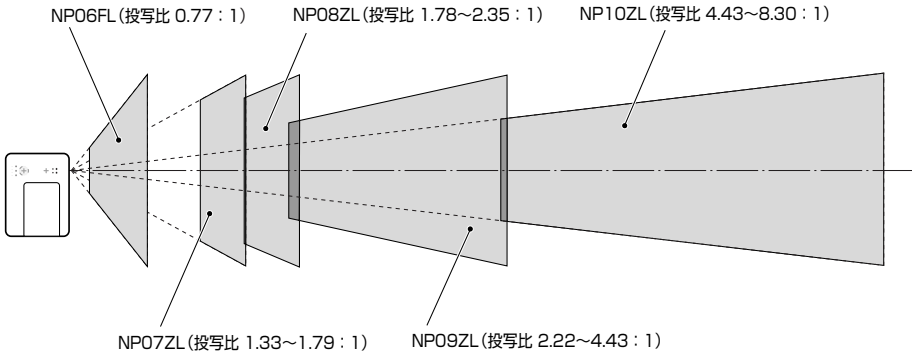
● 画面サイズからの投写距離算出法　（“H”はスクリーンの幅）

NP06FL レンズユニットの投写距離（m）＝H×0.817−0.039
0.84m（最小）〜 3.48m（最大）

NP07ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×1.379−0.050〜H×1.854−0.046
1.14m（最小）〜 19.93m（最大）

NP08ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×1.844−0.060〜H×2.435−0.063
1.53m（最小）〜 26.16m（最大）

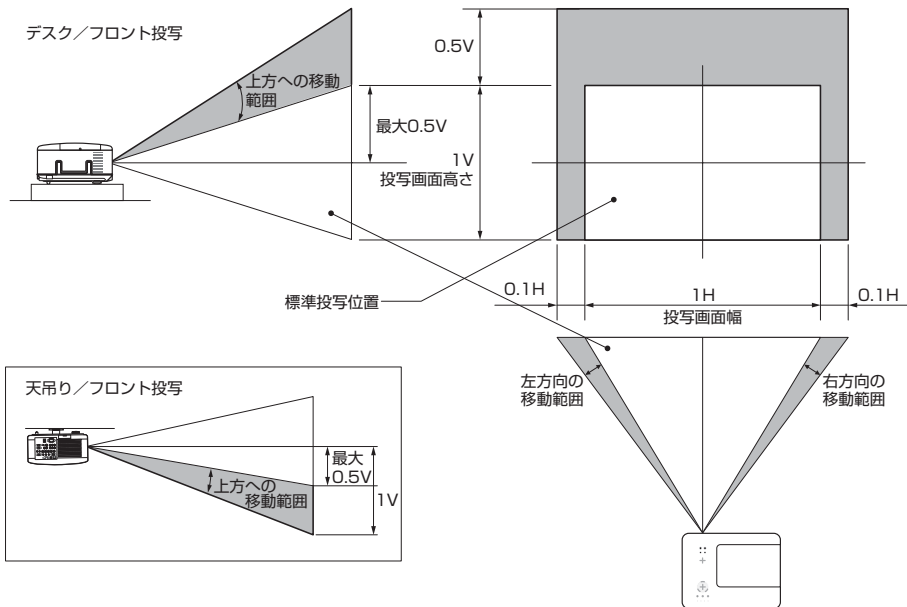
NP09ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×2.328−0.105〜H×4.639−0.106
1.90m（最小）〜 49.86m（最大）

NP10ZL レンズユニットの投写距離（m）＝H×4.580−0.138〜H×8.604−0.136
3.81m（最小）〜 92.52m（最大）

（例） NP4100Jの場合、レンズユニットNP08ZLを使用して100型スクリーンに投写する場合の投写距離
28ページの表より、H＝2.03mとなります。
投写距離は、2.03×1.823－0.064～2.03×2.403－0.062＝3.637m～4.816mとなります（ズームレンズのため）。

● 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

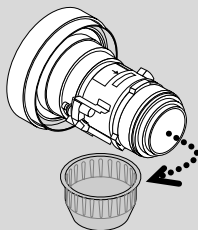
2-2. レンズシフト範囲

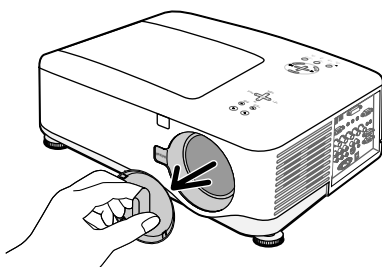
本機にはレンズシフト機能があります。（50ページ）
次の範囲内のレンズシフトができます。デスク／フロント投写するときの画面位置の調整に使用します。

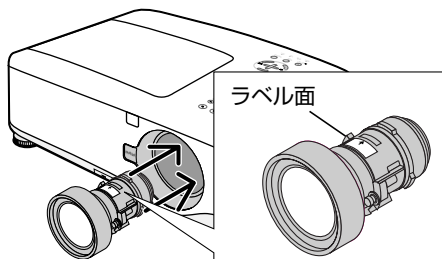
2
別売のレンズユニットを取り付ける

2-3. レンズユニットの取り付け／取り外し

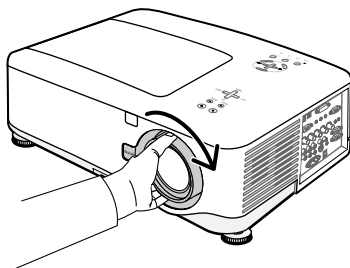
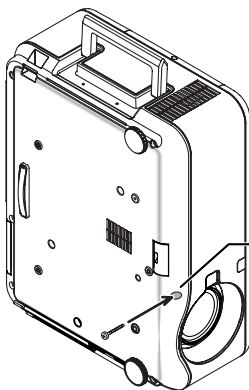
- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- レンズユニットの取り外しおよび取り付けの際は、電源を切り、冷却ファン停止後、主電源スイッチを切ってから行ってください。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- 作業は平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いて行ってください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、レンズホールキャップを本体に取り付け、ほこりやゴミが内部に入らないようにしてください。

●レンズユニットを取り付ける

- レンズユニットを取り付ける際の注意
  レンズユニットを本機に取り付ける際は、取り付ける側の白いレンズキャップを必ず取り外してください。
  白いレンズキャップを付けたまま本機に取り付けると故障の原因となります。

1 レンズホールキャップを取り外す。

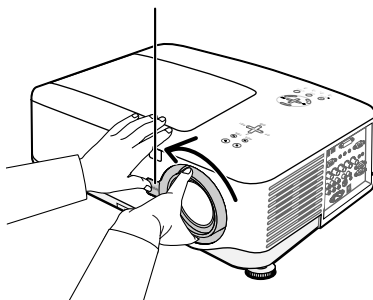
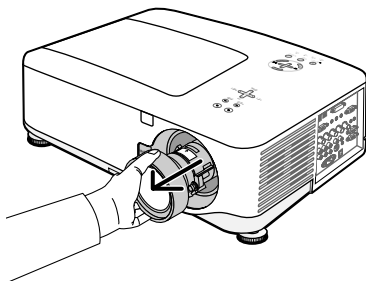
- ・レンズホールキャップは大切に保管してください。
  本機を輸送するなどの目的でレンズユニットを取り外した際にレンズホールキャップを本機に取り付けてください。

2 レンズユニットの矢印マークが付いたラベル面を上にして、プロジェクター本体に挿入する。

ラベル面

❸ レンズユニットを右に回す。

カチッと音がするまで回します。
レンズユニットがプロジェクター本体に固定されます。

● レンズユニット盗難防止用ネジの取り付けかた
レンズユニットを簡単に取り外されないようにする場合は、本機に添付のレンズユニット盗難防止用ネジを本体背面にネジ止めします。

●レンズユニットを取り外す

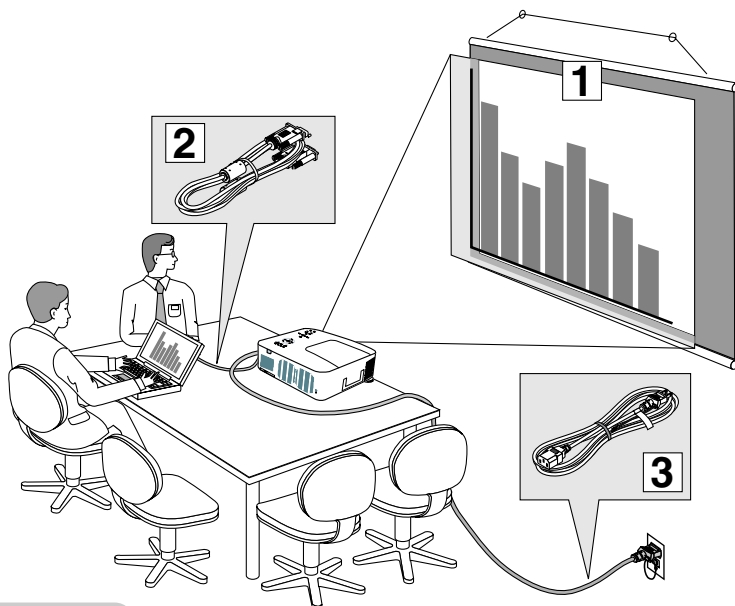
❶ プロジェクター本体前面のレンズリリースボタンを奥まで押し込みながら、レンズを左に回す。

レンズユニットが外れます。

● レンズリリースボタンを押してもレンズユニットを取り外せない場合は、レンズユニット盗難防止用ネジが取り付けられていないか確認してください（上の 参考 ）。

2 プロジェクター本体からレンズユニットをゆっくり引き出す。

3 代わりのレンズユニットを取り付けない場合は、レンズホールキャップをプロジェクター本体に取り付ける。

3. 設置と接続

3-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。

ステップ 1

スクリーンとプロジェクターを設置する

ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどをプロジェクターに接続する

・パソコンと接続する場合　（36ページ）
・RGBモニタと接続する場合　（38ページ）
・DVDプレーヤやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合　（39ページ, 40ページ）
・書画カメラと接続する場合　（41ページ）
・LANと接続する場合　（42ページ）

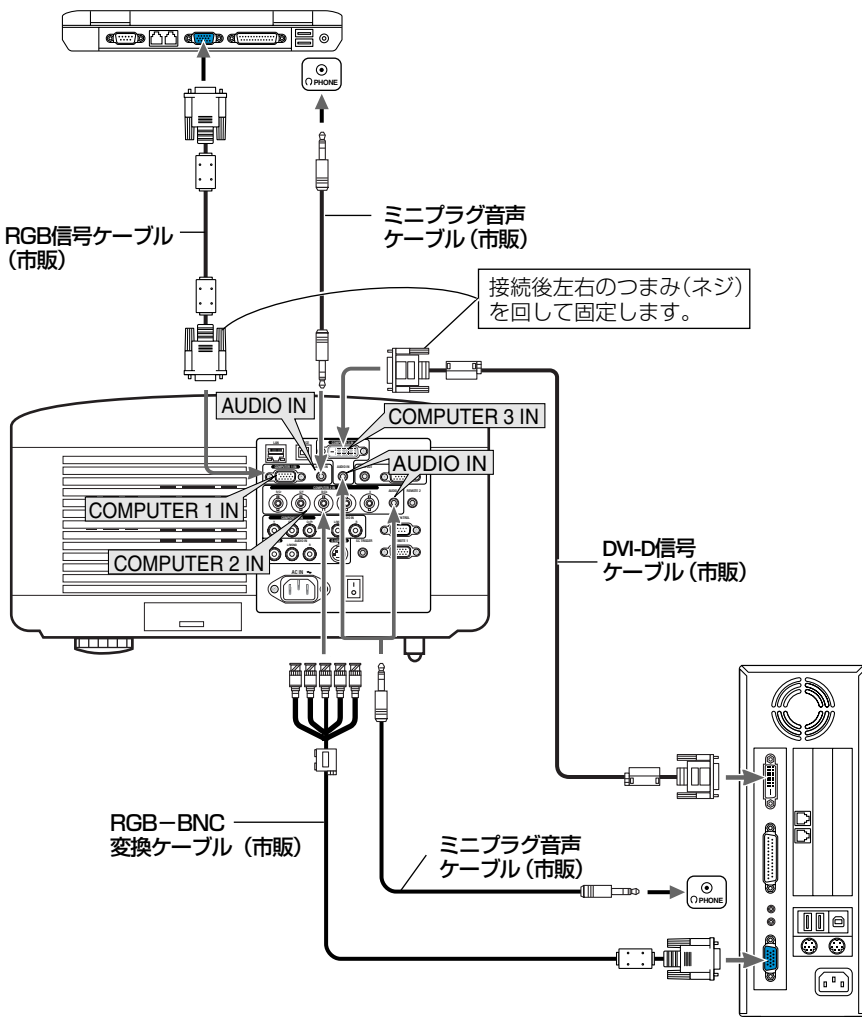
ステップ 3

電源コードを接続する　（43ページ）

3-2. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子（ミニD-Sub15ピン）と、本機のコンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1 IN）を市販のRGB信号ケーブルで接続します。パソコン側のディスプレイ出力端子が5芯タイプのBNC端子の場合は、市販のBNCケーブル（5芯タイプ）で本機のコンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2 IN）に接続します。

また本機には、DVI-D入力端子を装備しています。

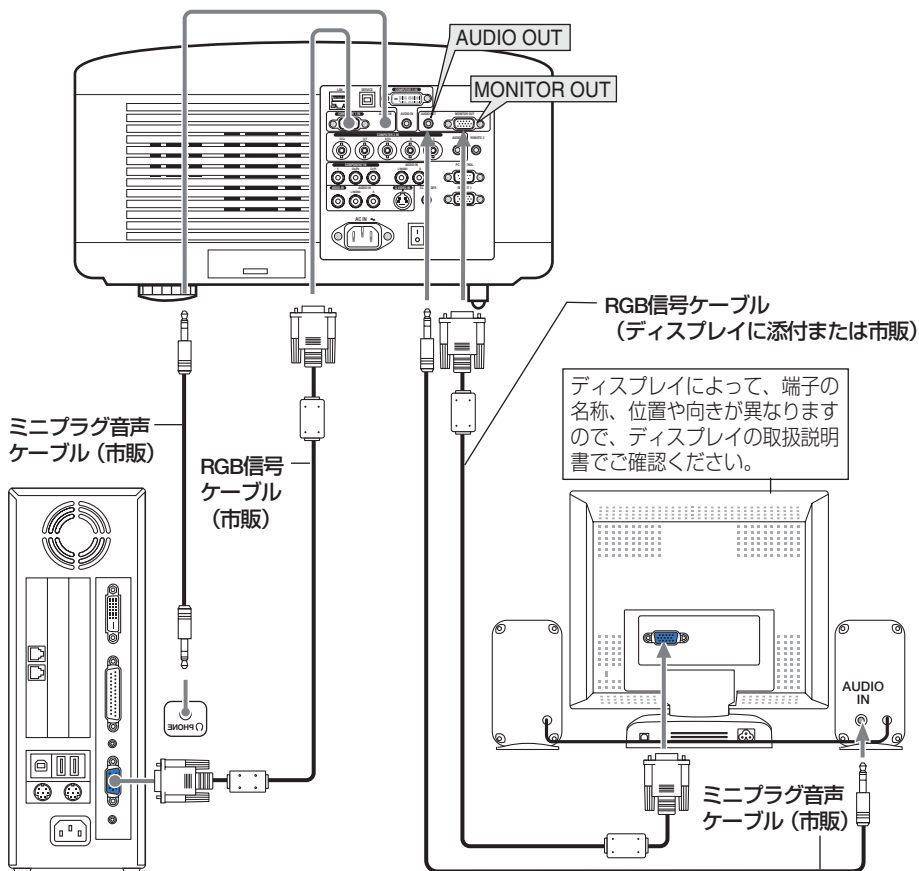
パソコン側がDVI出力端子の場合は、市販のDVI-D信号ケーブルで本機のコンピュータ3映像入力端子（COMPUTER 3 IN）に接続します（デジタル信号のみ入力できます）。

パソコンによって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、パソコンの取扱説明書でご確認ください。

- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット(形名ISS-6020J)のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り·巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- DVI(デジタル)入力時の注意事項
  - DVI-D信号ケーブルは、DDWG Revision1.0に準拠した5m以内のものを使用してください。
  - DVI-D信号ケーブルは、シングル／デュアルのどちらのタイプも使用できます。
  - DVI-D信号ケーブルを接続するときは、本機とパソコンの電源が切れた状態で行ってください。
  - DVI(デジタル)信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、コンピュータ3入力を選択します。最後にパソコンを起動してください。
    上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はパソコンを再起動してください。
  - パソコンのグラフィックカードによっては、アナログRGB(D-Sub)とDVI(またはDFP)の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub端子にRGB信号ケーブルを接続していると、DVI(デジタル)信号が出力されないものがあります。
  - 本機の電源が入っているときにDVI-D信号ケーブルを抜かないでください。
    一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
  - 本機のコンピュータ3映像入力(COMPUTER 3 IN)は、VGA(640×480)、SVGA(800×600)、XGA(1024×768)、1152×864、SXGA(1280×1024／垂直走査周波数60Hzまで)、およびSXGA+(1400×1050／垂直走査周波数60Hzまで)に対応しています。
    さらにNP4100WJは、WXGA(1280×768、1280×800)およびWXGA+(1440×900)に対応しています。

- コンピュータ1映像入力端子(COMPUTER 1 IN)は、Windowsのプラグ·アンド·プレイに対応しています(DDC2対応)。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプタ(市販品)が必要になる場合があります。

3-3. RGBモニタと接続する

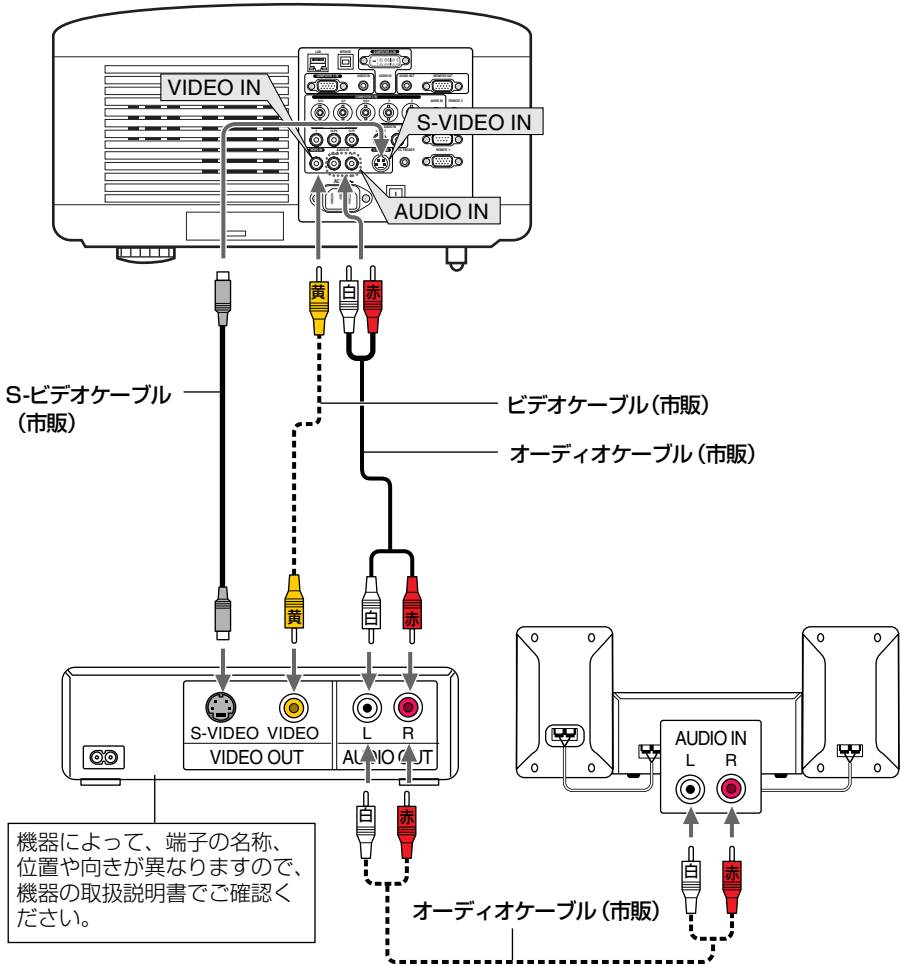
図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。本機のモニタ出力端子（MONITOR OUT）は、コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1 IN）、コンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2 IN）、およびコンポーネント映像入力端子（COMPONENT IN）のうち、投写されている映像信号を出力します。

注意

- 本機のモニタ出力端子（MONITOR OUT）は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
  複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- コンピュータ3映像入力端子（COMPUTER 3 IN）に入力されている映像信号（デジタル信号）は出力しません。
- 本機の音声出力端子（AUDIO OUT）に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声が出なくなります。

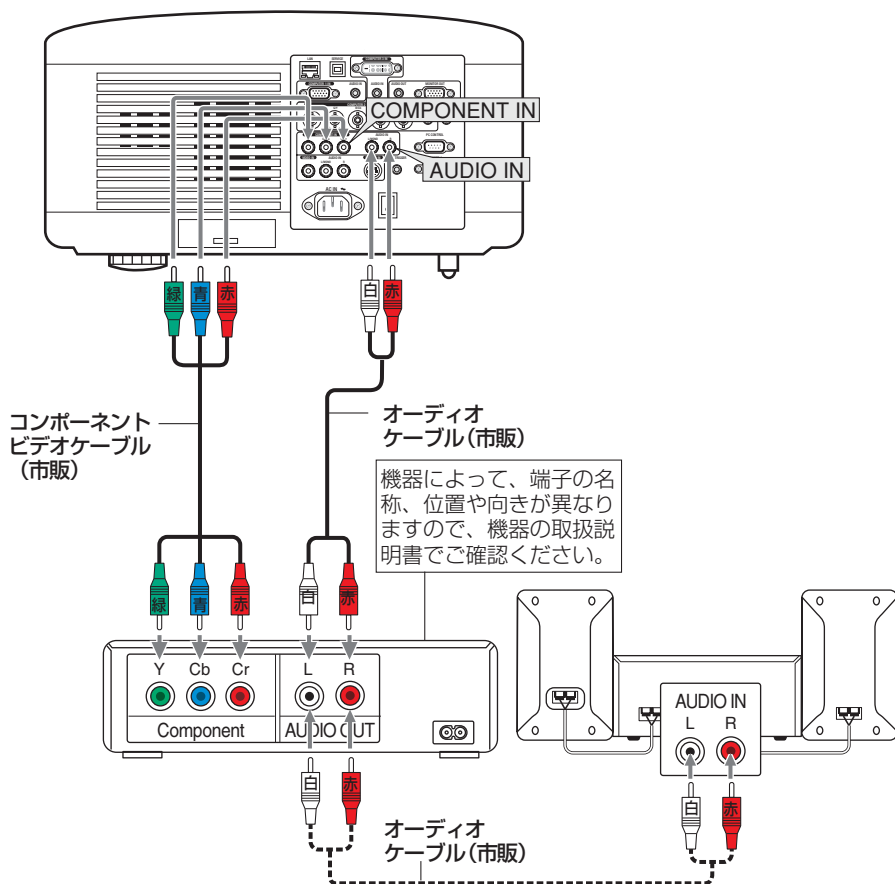
3-4. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

ビデオ信号／S-ビデオ信号の接続

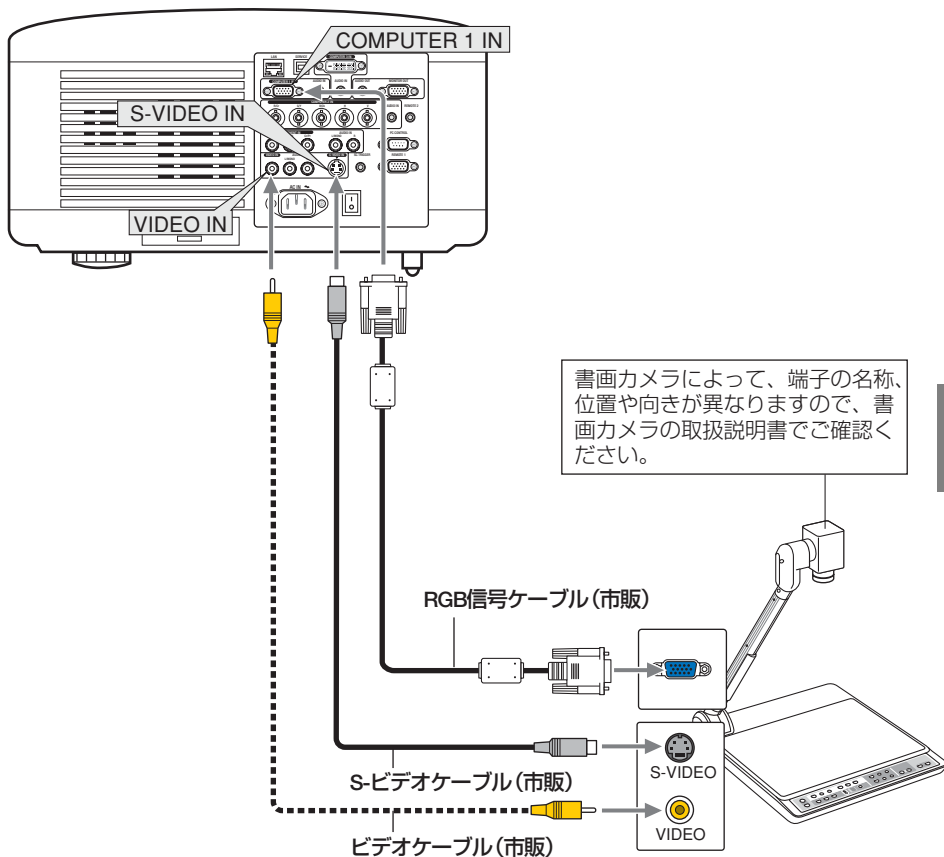
ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。

コンポーネント信号の接続

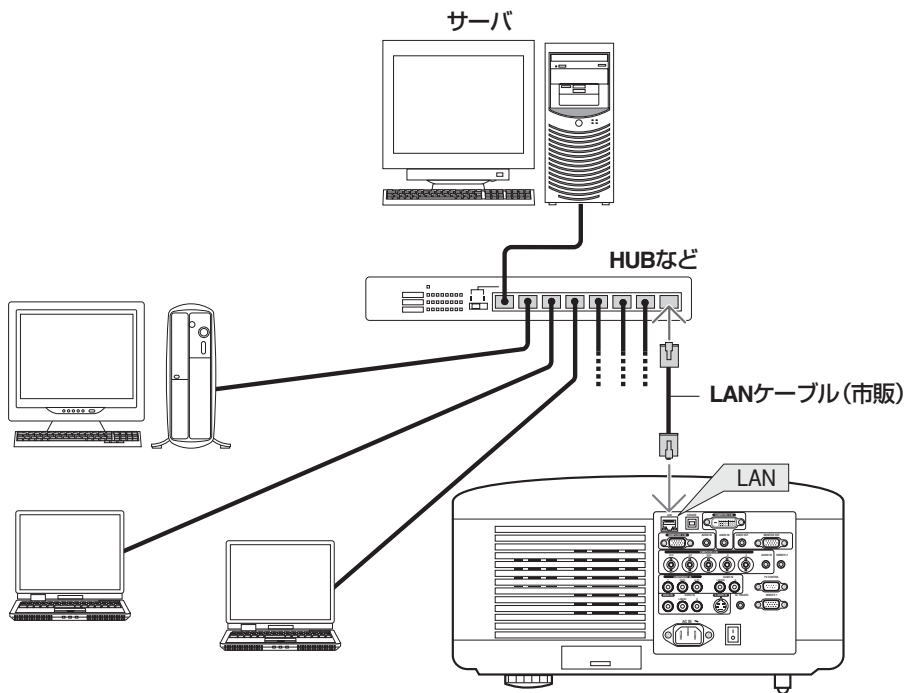
DVDプレーヤの色差出力端子（DVD映像出力）やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子（HD映像出力）を使って本機で投写することができます。

機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。

- コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1 IN）に接続する場合は、別売のコンポーネントビデオ変換アダプタ（形名ADP-CV1E）をお使いください。
- コンピュータ2映像入力端子（COMPUTER 2 IN）に接続する場合は、市販のRCA（メス）↔ BNC（オス）変換コネクタをお使いください。
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ（形名ADP-DT1E）をお使いください。

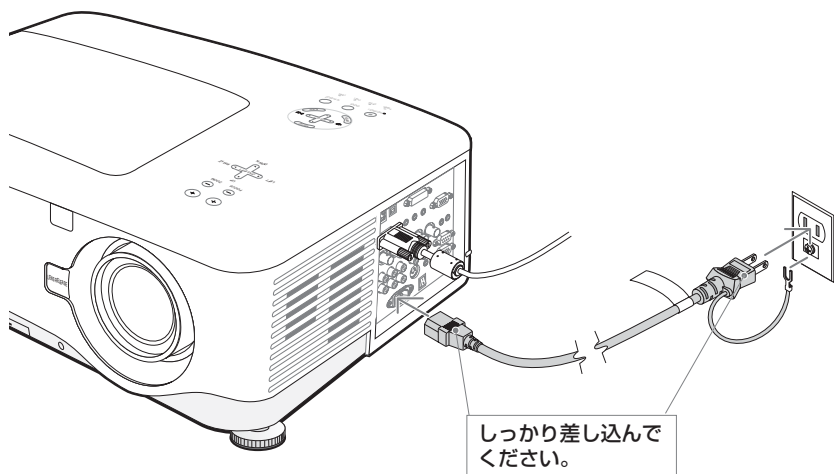
3-5. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。

3-6. LANと接続する

本機にはLANポート（RJ-45）が標準装備されており、LANケーブルを接続するとLAN環境を利用することができます。LANに接続したパソコンで本機のHTTPサーバにアクセスし、本機の電源の入／切や信号の切り替えなどの制御ができます。本機をLAN環境で使用する場合は、本機にIPアドレスなどを設定する必要があります。本機へのLANの設定について詳しくは、本書のオンスクリーンメニュー→［セットアップ］→［設置］→［LAN設定］（95ページ）をご覧ください。

接続例

3-7. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子と、AC100Vアース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。

⚠注意	機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。 感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。 アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。 また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

- 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC電源を切断する場合（ダイレクトパワーオフ）は、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行ってください。
- 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機のAC IN端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中にAC電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。

4. 映像を投写する(基本操作)

4-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる(45ページ)

↓

ステップ 2

入力信号を選択する(47ページ)

↓

ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する(49ページ)
台形歪みを調整する(54ページ)

↓

ステップ 4

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合(56ページ)
・本機の音量を調整する場合(57ページ)

↓

ステップ 5

プレゼンテーションを行う(58ページ)

↓

ステップ 6

本機の電源を切る(59ページ)

↓

ステップ 7

あとかたづけ(60ページ)

4-2. 本機の電源を入れる

準備：「3 設置と接続」(35ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

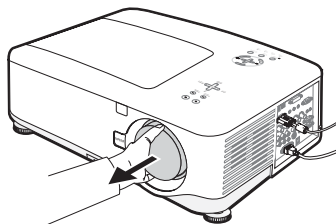
- 本機の電源コードの取り付けは、主電源スイッチが「○（切）」の状態で行ってください。主電源スイッチが「Ｉ(入)」の状態で電源コードの取り付けを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入／切は、「主電源スイッチ」と「POWER (ON/STAND BY) ボタン（リモコンはPOWER (ON) (OFF) ボタン)」の2段階の操作で行います。

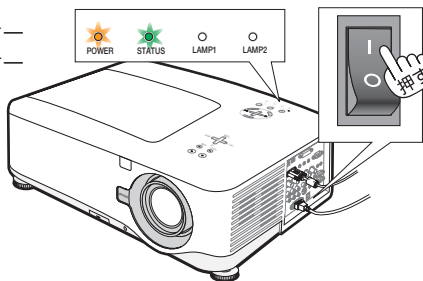
●**電源を入れる (このページ)**

1. 「主電源スイッチ」を「Ｉ(入)」にする。
   本機がスタンバイ状態になります。
2. 「POWER (ON/STAND BY) ボタン(リモコンはPOWER (ON) ボタン)」を押す。
   本機の電源が入ります。

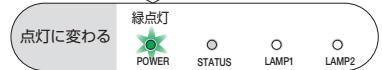
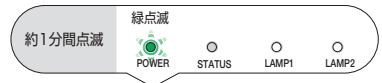
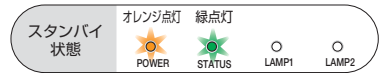
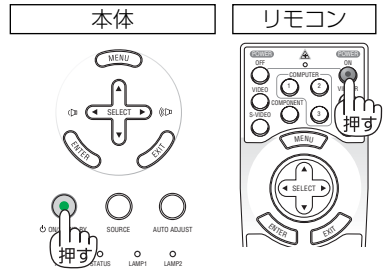
●**電源を切る (59ページ)**

1. 「POWER (ON/STAND BY) ボタン(リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を押す。
   画面に確認メッセージが表示されます。
2. もう一度「POWER (ON/STAND BY) ボタン(リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を押す。
   本機がスタンバイ状態になります。
3. ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○（切）」にする。
   本機の電源が切れます。

1 レンズからレンズキャップを取り外す。

2 主電源スイッチを「Ｉ(入)」にする。

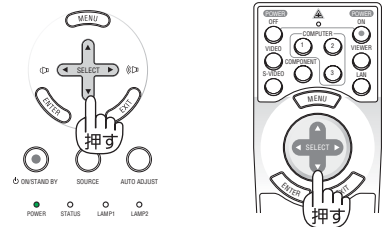
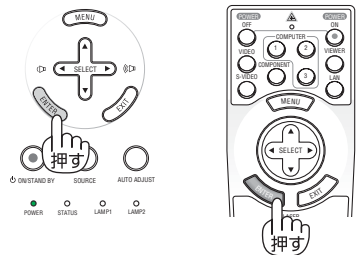
しばらくするとスタンバイ状態になります。
スタンバイ状態になると、POWERインジケータがオレンジ色で点灯し、STATUSインジケータが緑色で点灯します。

❸ スタンバイ状態になったのを確認し、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。

STATUSインジケータが消灯し、しばらくしてPOWERインジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が表示されます。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを押します。

・信号が入力されていないときは、NECロゴ画面（ロゴ：工場出荷状態）が表示されます。

・投写位置を変更する場合はレンズシフトを操作して調整してください。（➡50ページ）
また、映像がぼやけている場は、(FOCUS +/−) ボタンを押して画面のピントを合わせてください。（➡51ページ）

・ご購入後はじめて電源を入れたときは「Language（言語選択）」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。

❶ (SELECT ▼) ボタンを押して、オレンジ色のカーソルを［日本語］に合わせる。

❷ (ENTER) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定されます。

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。
  高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- 次のような場合は、POWER(ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
  ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  ・ランプ交換時間（目安）※がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。※保証時間ではありません。
  ・電源を入れてもランプが点灯せず、LAMP1/2インジケータが点滅（6回周期の点滅）している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。
- 電源を入れた直後のランプの点灯準備中、およびその後のPOWERインジケータ点滅中は電源を切ることができません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3〜5分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ランプの消灯直後や周囲の温度が高いときに電源を入れると、しばらくの間冷却ファンのみが回転し、そのあとスクリーンに映像が投写されます。

4-3. 入力信号を選択する

信号選択画面から選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

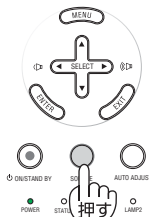
2 (SOURCE) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。

3 (SOURCE) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

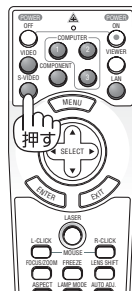
(SOURCE) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。

4 (ENTER) ボタンを押す。

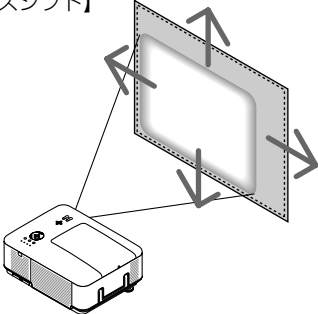
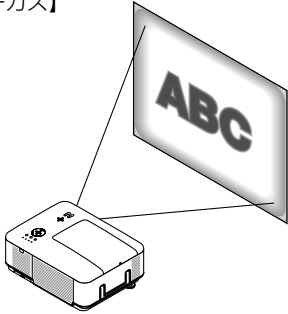
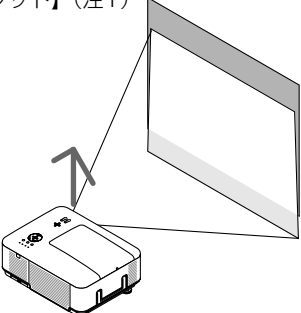
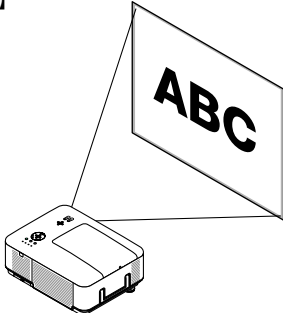
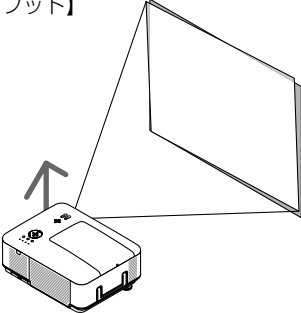
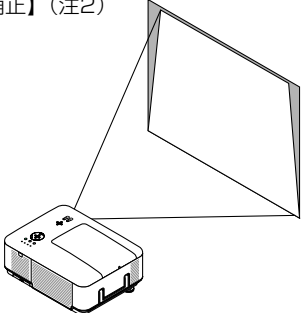
・(ENTER) ボタンを押さずに約2秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。

リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2 リモコンの（VIDEO）、（S-VIDEO）、（COMPONENT）、（COMPUTER 1）、（COMPUTER 2）、（COMPUTER 3）ボタンを押す。

参考

- 入力信号がないときは、NECロゴ画面（ロゴ：工場出荷状態）が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- NP4100WJにおいてXGA（1024×768ドット）信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。XGA信号が正しく認識されない場合は、［WXGAモード］を「オフ」にしてください。（98ページ）
  信号が正しく認識されているかどうかは、「情報」画面を表示して確認することができます。（100ページ）
- ノートパソコンの画面がうまく投写できない場合
  ノートパソコンの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
  ・Windowsの場合はファンクションキーを使います。
  Fn キーを押したまま（ ）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
  通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…とくり返します。

【パソコンメーカーとキー操作の例】

Fn + F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn + F4	HP
Fn + F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn + F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn + F8	DELL、EPSON
Fn + F10	FUJITSU

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

・Macintosh PowerBookは、ビデオミラーリングの設定を行います。

4-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

（注1）チルトフットによる投写画面の高低の調整は、レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合に行ってください。

（注2）台形補正については、「4-5.台形歪みを調整する」（54ページ）をご覧ください。

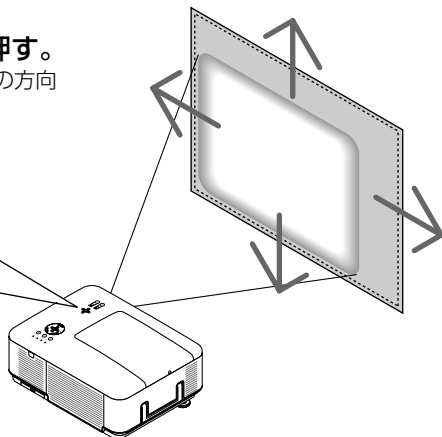
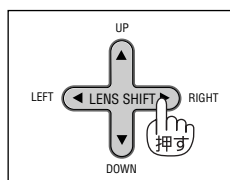
※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）

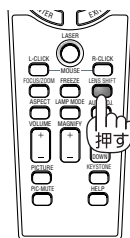
⚠注意	レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

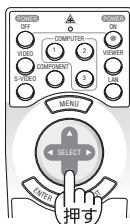
●本体で調整する

1 (LENS SHIFT ▼▲◀▶) ボタンを押す。

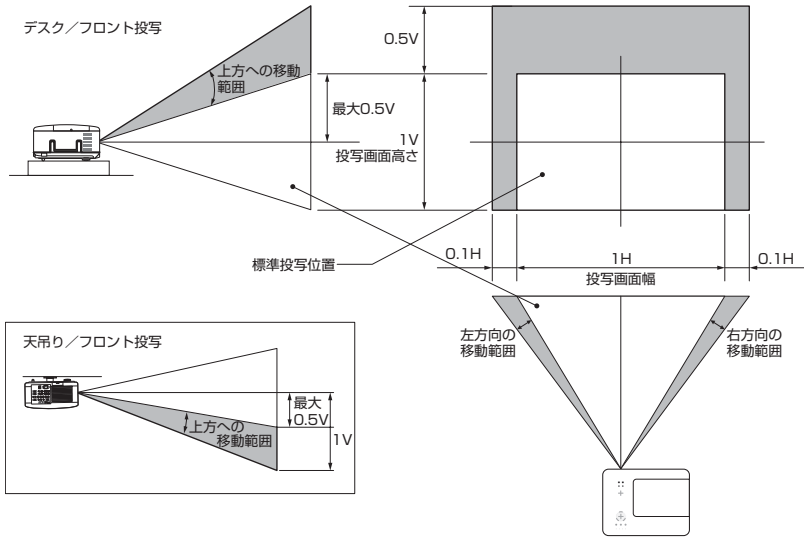
レンズシフト調整画面が表示され、矢印の方向に投写画面が移動します。

●リモコンで調整する

1 (LENS SHIFT) ボタンを押す。

レンズシフト調整画面が表示されます。

2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。

矢印の方向に投写画面が移動します。

注意

- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。

● 次の範囲を超えて投写位置を移動することはできません。

投写画面のピント合わせ（フォーカス）

●本体で調整する

1 (FOCUS +/−) **ボタンを押す。**

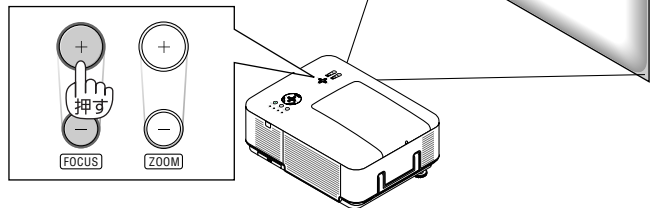
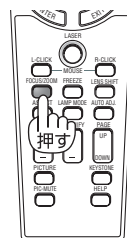
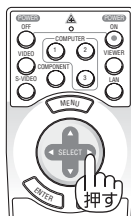
フォーカス調整画面が表示され、フォーカス調整を行います。

●リモコンで調整する

1 (FOCUS/ZOOM) **ボタンを押す。**

フォーカス調整画面が表示されます。

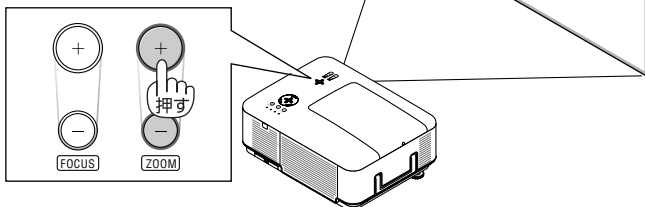
4

映像を投写する（基本操作）

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

投写画面の大きさの微調整（ズーム）

●本体で調整する

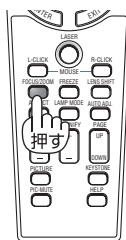
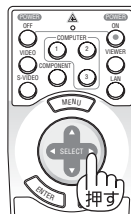
1 (ZOOM +/−) ボタンを押す。

ズーム調整画面が表示され、ズーム調整を行います。

●リモコンで調整する

1 (FOCUS/ZOOM) ボタンを押す。

フォーカス調整画面が表示されます。

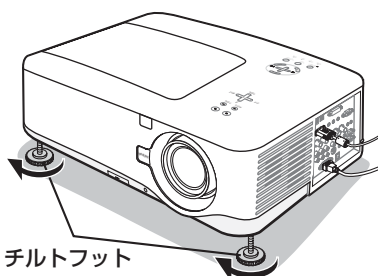
2 もう一度(FOCUS/ZOOM) ボタンを押す。

ズーム調整画面が表示されます。

3 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整（チルトフット）

レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合は、チルトフットを調整してください。

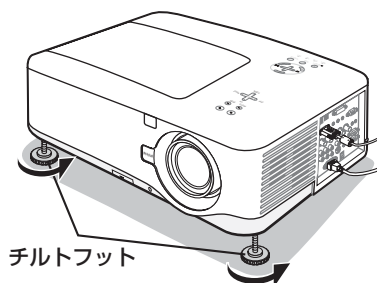
1 左右のチルトフットを右の図のように回す。

チルトフットが伸び、本機の前部分が持ち上がります。

・チルトフットにより、最大10°本機を傾けることができます。

注意

- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。
  チルトフット調整の際はご注意ください。

2 左右のチルトフットを右の図のように回す。

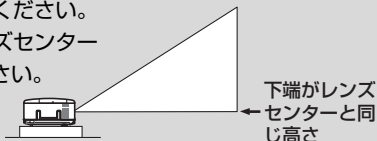
チルトフットが縮んで、本機の前部分が下がります。

注意

- ［台形補正］の調整値をクリアする（工場出荷時に戻す）場合は、（KEYSTONE）ボタンを2秒以上押してください。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

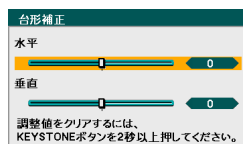
4-5. 台形歪みを調整する

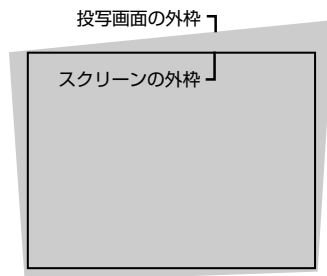
本機を正しい投写角度（投写画面の高低）に設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。ここでは［台形補正］画面を操作して、投写画面の台形歪みを調整する手順を説明します。

- 台形補正を行うときは、レンズシフト位置を次のようにしてください。
  レンズシフト位置が異なると、台形補正が正常に行えません。
  - ・水平方向……レンズセンターにしてください。
  - ・垂直方向……投写画面の下端をレンズセンターと同じ高さにしてください。

下端がレンズセンターと同じ高さ

スクリーンに向かって斜め横から投写した場合は、投写画面の上下の辺が平行になるように、［台形補正］画面の［水平］で調整してください。

1 リモコンの（KEYSTONE）ボタンを押す。

投写画面に［台形補正］画面が表示されます。

2 （SELECT ▼）ボタンを押して［垂直］にカーソルを合わせ、（SELECT ◀/▶）ボタンを押して左右の辺を平行にする。

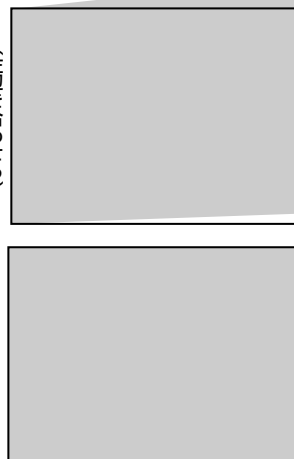
投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。

3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

・投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。

・右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

4 （SELECT ▲）ボタンを押して［水平］にカーソルを合わせ、（SELECT ◀/▶）ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（水平）を調整します。

・右の図のように左辺を合わせた場合は、（SELECT ▶）ボタンを押します。

5 手順2～4を繰り返し、台形歪みを調整する。

6 台形歪みの調整が終わったら、(EXIT) ボタンを押す。

[台形補正] 画面が消え、台形補正が決定されます。

・再び台形歪みを調整する場合は、(KEYSTONE) ボタンを押して [台形補正] 画面を表示し、上の手順1～6を行ってください。

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- 手順2において、投写画面の範囲内にスクリーンの外枠がすべて含まれるように、本機の設置位置を調整してください。
- 台形歪みの調整値をクリアする場合は、(KEYSTONE) ボタンを2秒以上押してください。
- [台形補正] は電気的な補正を行っているため、細かい文字が見えにくくなる場合があります。

参考

- 台形補正での調整範囲は次のとおりです。

	水平方向	垂直方向
台形補正	最大 ±約35度	最大 ±約40度

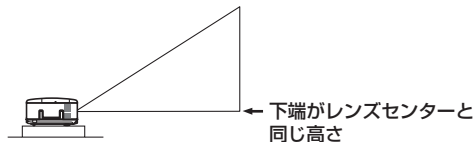
※上記の最大調整範囲の条件（以下のすべてを満たす場合）

・レンズユニットNP08ZLを使用している場合。

・レンズシフトの位置を次のようにした場合。

水平位置……レンズセンターにする。

垂直方向……投写画面の下端をレンズセンターと同じ高さにする。

レンズシフト位置を上記以外にしていると、台形補正が正常に行えません。

・ズームをワイド側に最大にした場合。

・NP4100Jは、入力信号がXGA信号の場合、NP4100WJは、入力信号がWXGAの場合。
本機の表示画素数より上の解像度の信号を入力した場合は調整範囲が狭くなります。

・メニュー項目を次のように設定した場合。
[アスペクト]　…………「4：3」(NP4100J) /「16：10」(NP4100WJ)
上記以外の設定では調整範囲は狭くなります。

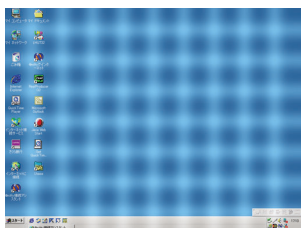
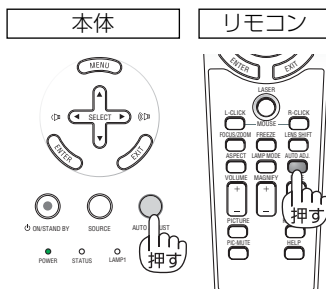
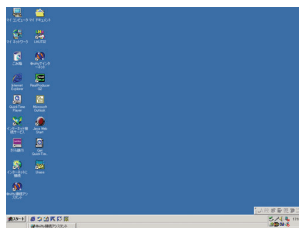
・水平･垂直を各々単独で調整した場合。
水平･垂直を組み合わせて調整すると、調整範囲は狭くなります。

4-6. 映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 (AUTO ADJUST) ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

・リモコンで操作する場合は、(AUTO ADJ.) ボタンを押します。

【映りが悪い画面の例】　　【自動調整後の画面の例】

● 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください。（87ページ）
● パソコンの画面がうまく投写できない場合は、113ページを参照してください。

4-7. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子（AUDIO OUT）から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

1 (SELECT ◀/▶) ボタンを押す。

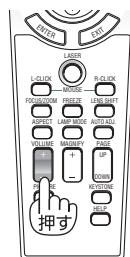
調整バーが表示されます。

🔊側…音量が大きくなります。
🔈側…音量が小さくなります。

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、および (MAGNIFY＋) ボタンで画面を拡大しているときは、(SELECT ◀/▶) ボタンを使った音量調整はできません。

リモコンを使って調整する

1 リモコンの (VOLUME +/−) ボタンを押す。

＋側…音量が大きくなります。
－側…音量が小さくなります。

- 工場出荷時、音量は30に設定されています。

4-8. レーザーポインタを使う

レーザーポインタ機能を使って、効果的なプレゼンテーションが行えます。
リモコンの先端からレーザー光（赤い光）を出し、説明したいところをピンポイントで指すことができます。

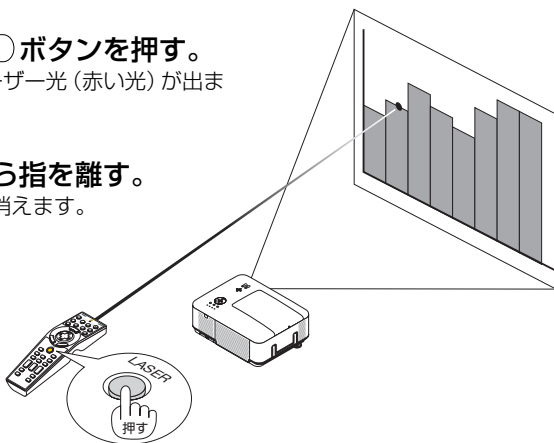
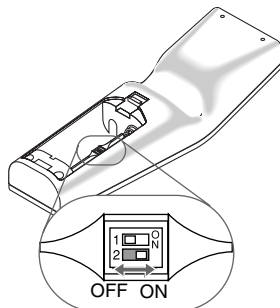
⚠警告

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

次の事項をお守りください。レーザー光が目にあたると視力低下・視覚障害の原因となります。

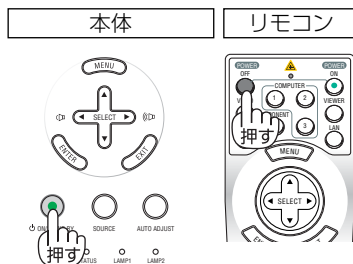
- **レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない。**
- **レーザー光を人に向けない。**
- **子供には使用させない。**

1 リモコンの（LASER）ボタンを押す。
リモコンの先端からレーザー光（赤い光）が出ます。

2 （LASER）ボタンから指を離す。
レーザー光（赤い光）が消えます。

- リモコン底面に次の内容が記載されています。
  クラス2レーザー製品　最大出力：1.0mW
  波長：650nm
  JIS C 6802:1998
  製造者：F & T
- レーザーの発光を禁止する場合は、電池ケースの中にあるレーザー光の有効／禁止スイッチを操作してください。
  必要に応じて「スイッチ2」を細いボールペンの先などを使って設定してください。工場出荷状態は「有効」に設定されています。お子様が使用できる環境に置かれる場合は「禁止」に設定してください。
  なお、「スイッチ1」は本機では使用していません。
  ON側… 有効（（LASER）ボタンを押すとレーザーが発光します。）【工場出荷状態】
  OFF側… 禁止（（LASER）ボタンを押してもレーザーは発光しません。）

4-9. 本機の電源を切る

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。

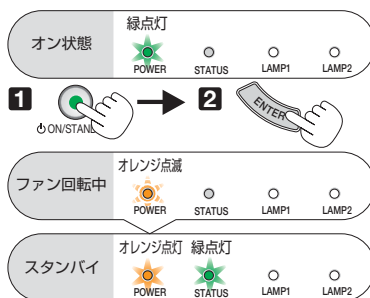
画面に確認メッセージが表示されます。

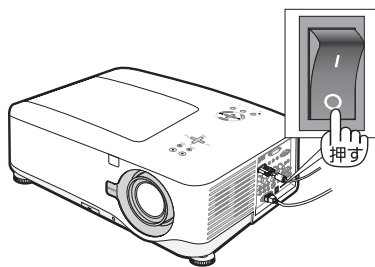
・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。

2 (ENTER) ボタンを押す。

ランプが消灯し、冷却ファンがしばらく回転します。冷却ファンの回転が終了すると、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、POWERインジケータがオレンジ色で点灯し、STATUSインジケータが緑色で点灯します。

・(ENTER) ボタンの代わりに、POWER (ON/STAND BY) ボタンまたはPOWER (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。

・電源を切らない場合は、(SELECT ◀/▶) ボタンで「取消」を選んで (ENTER) ボタンを押します。

3 スタンバイ状態になったのを確認し、主電源スイッチを「○（切）」にする。

本機のPOWERインジケータが消え、主電源が切れます。

注意

● 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC電源を切断する場合は、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行ってください。

● 投写中および冷却ファンの回転中に主電源スイッチを切ったり、AC電源を切断すると、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

● 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機のAC IN端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中にAC電源を切断する場合は、本機の主電源スイッチ、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。

● 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約10秒間は、AC電源を切断しないでください。この間にAC電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

4-10. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「○（切）」になっていることを確認してください。

1 **電源コードを取り外す。**

2 **各種信号ケーブルを取り外す。**

3 **チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。**

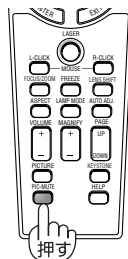
4 **レンズにレンズキャップを取り付ける。**

5. 便利な機能

5-1. 映像と音声を消去する

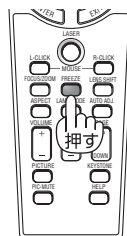
1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力されている音声が一時的に消えます。

・もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。

5-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

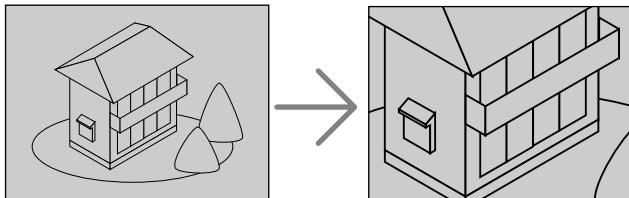
ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

・もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。

● (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像 (静止画) を投写します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。

5-3. 映像を拡大する（NP4100Jのみ）

1 リモコンの (MAGNIFY＋) ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。

・最大4倍まで拡大できます。

2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。

拡大した画像の表示領域が移動します。

3 (MAGNIFY −) ボタンを押す。

押すごとに画像が縮小します。

・もとのサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

● NP4100WJでは、(MAGNIFY＋/−) ボタンは動作しません。

●拡大および縮小は、画面を中心にして拡大および縮小します。

5-4. ランプモードを切り替える

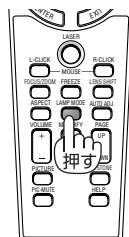
小さいスクリーンサイズで投写して画面が明るすぎるときや、暗い室内で投写する場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ交換時間（目安）※を延ばすことができます。

ランプモードの種類	ランプの輝度	LAMPインジケータの状態（注）
ノーマルモード	ランプの輝度（明るさ）が100%になります。 明るい画面になります。	緑色で点灯 LAMP1　LAMP2
エコモード	ランプの輝度（明るさ）が次のようになります。 ・ノーマルモードのときの約85%に下がります。 ・ランプ交換時間（目安）※が延びます。 ・ランプの輝度（明るさ）が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。	オレンジ色で点灯 LAMP1　LAMP2

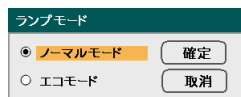
（注）LAMP1/2インジケータの点灯は、オンスクリーンメニューの［ランプ選択］の設定に連動します。

※ 保証時間ではありません。

1 リモコンの（LAMP MODE）ボタンを押す。

ランプモード選択画面が表示されます。

2 （SELECT ▼/▲）ボタンでランプモードを選択し、（ENTER）ボタンを押す。

ランプモードが切り替わります。

・ランプモードをもとに戻す場合は、手順 1 2 を繰り返します。

- オンスクリーンメニューの［セットアップ］→［全般］→［ランプモード］でもランプモードを切り替えることができます。
- ランプ残量／ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの［情報］→［使用時間］で確認できます。（100ページ）

5-5. 本機の情報画面を投写する

1 リモコンの(HELP)ボタンを押す。

情報画面が表示されます。

2 (SELECT ◀/▶) ボタンを押すと、各種の情報画面に切り替わります。

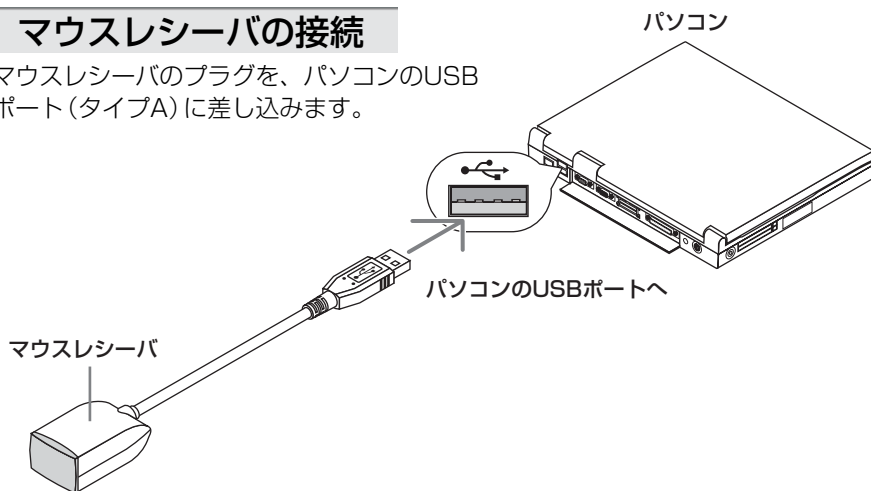
3 (EXIT) ボタンを押す。

情報画面が閉じます。

5-6. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

別売のマウスレシーバをパソコンに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、パソコンのUSBポート(タイプA)に差し込みます。

注意

- マウスレシーバは、次のOSにおいて使用できます。
  Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Me/Windows 98
  Mac OS X10.0.0以降
- Windows XPのSP2より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- Mac OS用のPowerPointを使用しているときは、リモコンの(PAGE UP/DOWN)ボタンは働きません。
- パソコンのUSBポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、パソコンがマウスレシーバを正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったパソコンのマウス操作

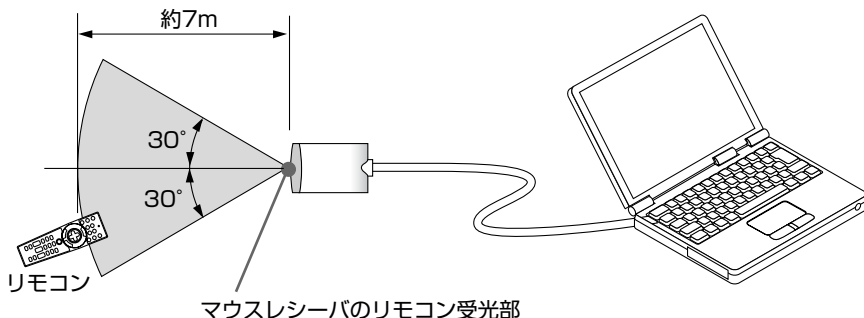
リモコンで以下のマウス操作ができます。

- (PAGE UP/DOWN) ボタン …画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- (SELECT ▼▲◀▶) ボタン……マウスポインタを移動します。
- (L-CLICK) ボタン……………マウスの左クリックの働きをします。
- (R-CLICK) ボタン …………マウスの右クリックの働きをします。

- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに(SELECT ▼▲◀▶)ボタンでパソコンのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。
- Mac OS用のPowerPointを使用しているときは、リモコンの(PAGE UP/DOWN)ボタンは働きません。

- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、パソコンのオンラインヘルプか取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンでドラッグ･アンド･ドロップを行えます。
  1. マウスポインタでアイコンを選択する。
  2. (L-CLICK)(または(R-CLICK))ボタンを2秒以上押し続けて離す。
     ドラッグモードになります。
  3. (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。
     選択したアイコンが移動します。
  4. (L-CLICK)(または(R-CLICK))ボタンを押す。
     アイコンがドラッグ･アンド･ドロップされます。
     - ドラッグモードを解除するには、(R-CLICK)(または(L-CLICK))ボタンを押します。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。

5-7. セキュリティを設定して無断使用を防止する

キーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

セキュリティを有効にする

1 **(MENU) ボタンを押す。**
メインメニューが表示されます。

2 **(SELECT ▼/▲) ボタンで [セットアップ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。**
[セットアップ] メニューが表示されます。

3 **(SELECT ◀/▶) ボタンで [設置] にカーソルを合わせる。**

4 **(SELECT ▼/▲) ボタンで[セキュリティ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。**

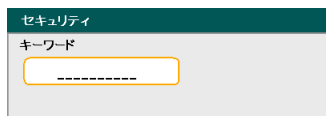
5 **(SELECT ▼) ボタンで「オン」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。**
キーワード入力画面が表示されます。

6 **(SELECT ▼▲◀▶) ボタンの組み合わせでキーワードを設定し、(ENTER) ボタンを押す。**
入力したキーワードは「*」で表示されます。
キーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。

● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

キーワードの再入力画面が表示されます。

7 **6で設定したキーワードを再入力し、(ENTER) ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

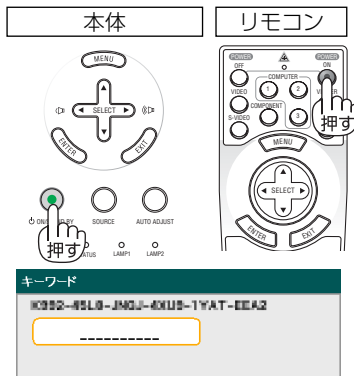
5 便利な機能

8 (SELECT ◀/▶) ボタンで［確定］を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。

・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。

2 (MENU) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。

3 キーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。

入力したキーワードは「＊」で表示されます。
セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。

注意
●セキュリティロックの解除状態は、電源コードを抜くまで保持されます。

セキュリティを無効にする

1 (MENU) ボタンを押す。

メインメニューが表示されます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンで［セットアップ］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

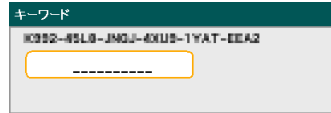
［セットアップ］メニューが表示されます。

3 (SELECT ◀/▶) ボタンで［設置］にカーソルを合わせる。

4 (SELECT ▼/▲) ボタンで[セキュリティ]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キーワード入力画面が表示されます。

5 キーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。

入力したキーワードは「＊」で表示されます。

6 (SELECT ▲) ボタンで「オフ」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

セキュリティが無効になります。

- キーワードを忘れたときの対処
  キーワード入力画面に表示されるお問い合わせコード(英数文字24文字)を、お客様問い合わせ窓口(NECプロジェクター・カスタマサポートセンター)にご連絡ください。解除コードをお知らせします。

5

便利な機能

5-8. HTTPを使用したWebブラウザによる操作

概要

HTTPサーバ機能を使用することにより、Webブラウザから本機を操作することができます。なお、Webブラウザは「Microsoft Internet Explorer 4.x」以上を必ず使用してください（以降、「ブラウザ」と省略します）。
本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTPサーバ機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたパソコンでブラウザを起動し、アドレスまたはURLの入力欄へ
　　　http://〈本機のIPアドレス〉/index.html　　と指定することで行えます。

● ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
● プロジェクターの状態によっては、HTTPサーバ機能へアクセスしたときに表示される操作ボタンと実際の動作が異なる場合があります。その場合は、HTTPサーバ画面上の「Refresh」ボタンをクリックしてください。

使用前の準備

● ブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください。（➡ 42ページ）
● オンスクリーンメニューの［PCコントロール］で「LAN」を選択してください。（➡ 95ページ）
● プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用しないことをおすすめします。

ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたはURL欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機のIPアドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機のIPアドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

（例1）本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://pj.nec.co.jp/index.html　と指定します。

（例2）本機のIPアドレスが「192.168.73.1」の場合
HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html　と指定します。

HTTPサーバの構成

Power	**本機の電源をオン／オフします。**	
	On	電源をオンにします。
	Off	電源をオフにします。
Volume	**本機の音量をコントロールします。**	
	▲	音量調整値をアップします。
	▼	音量調整値をダウンします。
Mute	**本機のMUTEをコントロールします。**	
	Picture ⊘	映像をミュート（一時的に消去）します。
	Picture ⊘	映像ミュートを解除します。
	Sound ⊘	音声をミュート（一時的に消去）します。
	Sound ⊘	音声ミュートを解除します。
	OSD ⊘	メニュー表示をミュート（一時的に消去）します。
	OSD ⊘	メニュー表示のミュートを解除します。
	ALL On	映像、音声、メニュー表示をすべてミュート(一時的に消去)します。
	ALL Off	映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。
Picture	**本機の映像調整をコントロールします。**	
	Brightness ▲	明るさの調整値をアップします。
	Brightness ▼	明るさの調整値をダウンします。
	Contrast ▲	コントラストの調整値をアップします。
	Contrast ▼	コントラストの調整値をダウンします。
	Color ▲	カラーの調整値をアップします。
	Color ▼	カラーの調整値をダウンします。
	Hue ▲	色相の調整値をアップします。
	Hue ▼	色相の調整値をダウンします。
	Sharpness ▲	シャープネスの調整値をアップします。
	Sharpness ▼	シャープネスの調整値をダウンします。

※本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「6-4 調整」の「コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相」（83ページ）をご覧ください。

次ページに続く

Source Select	**本機の入力端子を切り替えます。**	
	Computer 1	コンピュータ1映像入力に切り替えます。
	Computer 2	コンピュータ2映像入力に切り替えます。
	Computer 3	コンピュータ3映像入力に切り替えます。
	Component	コンポーネント映像入力に切り替えます。
	Video	ビデオ映像入力に切り替えます。
	S-Video	S-ビデオ映像入力に切り替えます。
Projector Status	**本機の状態を表示します。**	
	Refresh	状態表示を更新します。
	Lamp 1 life Remaining	ランプ1の残り使用時間を%表示します。
	Lamp 2 life Remaining	ランプ2の残り使用時間を%表示します。
	Lamp 1 Hours Used	ランプ1の使用時間を表示します。
	Lamp 2 Hours Used	ランプ2の使用時間を表示します。
	Filter Hours Used	フィルタの使用時間を表示します。
	Error Status	本機内部のエラー発生状況を表示します。

5-9. その他のWebブラウザを使った設定について

Webブラウザを使って次の設定が行えます。

● Domain（ドメイン） …本機のホスト名とドメイン名を設定します。

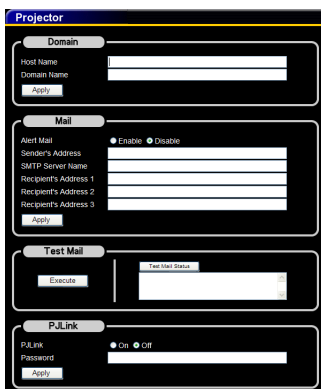
● Mail（メール通知） ……本機をLANに接続して使用しているときに、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態をEメールでパソコンなどへ通知します。

● Test Mail（メール通知のテスト）…メールの設定が正しく行われているかを確認します。

● PJLink…………………PJLink（ピージェイリンク）を使用する場合に、パスワードを設定します。

設定画面のURL

Webブラウザを起動し、アドレスまたはURLの入力欄へ次のように入力します。

http:// <本機のIPアドレス> /lanconf.html

Domain

本機のホスト名とドメイン名を設定します。

Host Name	本機のホスト名を設定します。	英数字　最大60文字
Domain Name	本機のドメイン名を設定します。	英数字　最大60文字
Apply	設定を適用します。	—

Mail

本機をLANに接続して使用しているときに、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態をＥメールでパソコンなどへ通知します。

Alert Mail	Enable…以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 Disable…メール通知機能が停止します。	—
Sender's Address	差出人アドレスを設定します。 Ｅメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大60文字
SMTP Server Name	本機を接続するLANのSMTPサーバを設定します。	英数字 最大60文字
Recipient's Address 1 Recipient's Address 2 Recipient's Address 3	宛先のアドレスを設定します。宛先は３つまで設定できます。 Ｅメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大60文字
Apply	設定を適用します。	—

Test Mail

メール通知の設定を確認するために、テストメールを送信します。
画面の［Execute］をクリックするとテストメールが送信されます。
画面の［Test Mail Status］をクリックすると、テストメールの結果が表示されます。

- 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、オンスクリーンメニューの［LAN設定］を確認してください。
- 宛先のアドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスを確認してください。

PJLink

PJLink	On……パスワードを有効にします。 Off……パスワードを無効にします。
Password	パスワードを入力します（最大32文字）。
Apply	設定を適用します。

6. オンスクリーンメニュー

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

オンスクリーンメニューの種類

本機で投写する画像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。
本機のメニューには「ベーシックメニュー」と「アドバンストメニュー」の2つがあります。

(1) アドバンストメニュー ……すべての項目を表示するメニューです。
(2) ベーシックメニュー ………基本的な項目に絞ったメニューです。

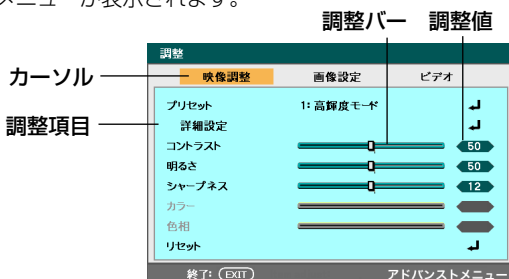
本機の工場出荷時は、「アドバンストメニュー」が表示されるように設定されています。
「アドバンストメニュー」と「ベーシックメニュー」の切り替えは、「メニューモード」(次ページ) で行います。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには (MENU) ボタンを押します。また、メニューを消す場合は (EXIT) ボタンを押します。
ここでは、アドバンストメニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

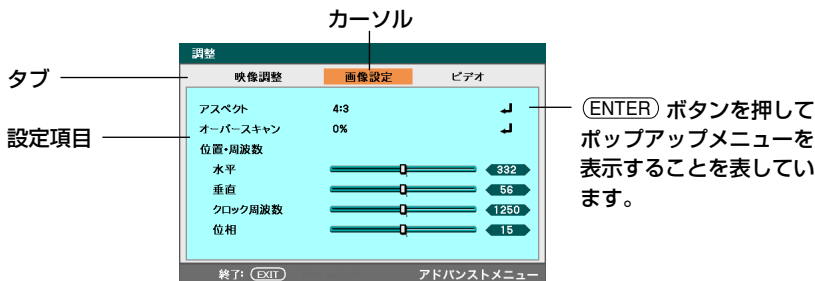
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

1 (MENU) ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して［調整］にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
［調整］メニューが表示されます。

3 (SELECT ▼/▲) ボタンを押す。
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。

4 [明るさ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押す。
画面の明るさが調整されます。
- メニュー内の [リセット] にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、[映像調整] の調整や設定を工場出荷状態に戻します。

5 (EXIT) ボタンを 1 回押す。
カーソルが［映像調整］タブに移動します。

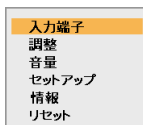
6 (SELECT ▶) ボタンを1回押す。
カーソルが [画像設定] に移動し、[画像設定] メニューが表示されます。

7 (EXIT) ボタンを押す。
メインメニューに戻ります。

8 (EXIT) ボタンを押す。
メインメニューが消えます。

● 入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

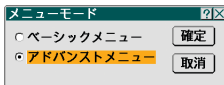
「アドバンストメニュー」と「ベーシックメニュー」の切り替え

アドバンストメニューからベーシックメニューへの切り替え（またはその逆）は、[メニューモード] で行います。

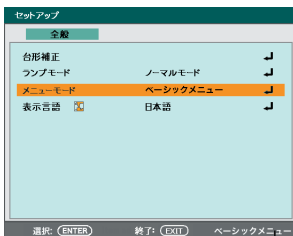
1 (MENU) ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。

2 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して [セットアップ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

3 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、[全般] にカーソルを合わせる。

4 (SELECT ▼/▲) ボタンを押して [メニューモード] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

メニューモード画面が表示されます。

5 (SELECT ▲) ボタンを1回押して、「ベーシックメニュー」にカーソルを合わせる。

6 (SELECT ▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

ベーシックメニューに切り替わります。

表示中のメニューの種類

7 (EXIT) ボタンを3回押す。

メニューが消えます。

・再びアドバンストメニューに戻す場合は、手順5で「アドバンストメニュー」を選択して (ENTER) ボタンを押します。

● 「アドバンストメニュー」と「ベーシックメニュー」で表示される項目については、次ページをご覧ください。

6-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンストメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「Ⓑ」マークを付けています。

（網掛け）は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニューバー	ページタブ	サブメニュー				参照ページ
入力端子Ⓑ		コンピュータ1Ⓑ				80
		コンピュータ2Ⓑ				
		コンピュータ3Ⓑ				
		コンポーネントⒷ				
		ビデオⒷ				
		S-ビデオ Ⓑ				
調整Ⓑ	映像調整Ⓑ	プリセット	1.高輝度モード／2.プレゼンテーション／3.ビデオ／4.ムービー／5.グラフィック／6.sRGB			81
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード／プレゼンテーション／ビデオ／ムービー／グラフィック／sRGB	82
				ガンマ補正	ダイナミック／ナチュラル／ソフト	
				色温度	5000／6500／7800／8500／9300／10500	
				BrilliantColor	1／2／3	
			ホワイトバランス	明るさ赤／明るさ緑／明るさ青／コントラスト赤／コントラスト緑／コントラスト青		
			色補正	赤／緑／青／イエロー／マゼンタ／シアン		
		コントラストⒷ				83
		明るさⒷ				
		シャープネスⒷ				
		カラーⒷ				
		色相Ⓑ				
		リセットⒷ				
	画像設定Ⓑ	アスペクトⒷ	(NP4100J) 自動／4：3／16：9／15：9／16：10／ワイドズーム／リアル (NP4100WJ) 自動／4：3／16：9／15：9／16：10／レターボックス／リアル			84
		オーバースキャン	0%／5%／10%／15%			86
		位置・周波数	水平			87
			垂直			
			クロック周波数			
			位相			
	ビデオ	ノイズリダクション	オフ／弱／中／高			88
		3D Y／C分離	オフ／オン			88
		デインターレース	オフ／静止画／ノーマルモード／ムービー			88
		カラーマトリクス	自動判別／RGB／SDTV／HDTV			88
		テレシネモード	オフ／2-2/2-3自動／2-2オン／2-3オン			89
音量Ⓑ						89

セットアップ Ⓑ	全般 Ⓑ	台形補正 Ⓑ	水平		90
			垂直		
		ランプモード Ⓑ	ノーマルモード／エコモード		90
		ランプ選択	2灯／1灯／ランプ1／ランプ2		90
		ランプ切替時間	モード	オフ／12 [H]／24 [H]／1週間	91
			切替時刻	時：分（曜日）	
			現在時刻	時：分（曜日）	
		メニューモード Ⓑ	ベーシックメニュー／アドバンストメニュー		92
		表示言語 Ⓑ	English／Deutsch／Français／Italiano／Español／Svenska／日本語／Dansk／Português／Čeština／Magyar／Polski／Nederlands／Suomi／Norsk／Русский／عربي／Ελληνικά／中文／한국어		92
	設置	投写方法	デスク/フロント／天吊り/リア／デスク/リア／天吊り/フロント		92
		通信速度	4800bps／9600bps／19200bps／38400bps		93
		メニュー表示色選択	カラー／モノクロ		93
		表示時間	手動／自動 5秒／自動15秒／自動45秒		93
		バックグラウンド	ブルーバック／ブラックバック／ロゴ		93
		セキュリティ	オフ／オン		94
			キーワード		
		本体キーロック	オフ／オン		94
		DynamicBlack	オフ／オン		94
		リモコン受光部設定	前側/後側／前側／後側		94
		ＬＡＮ設定	DHCP	有効／無効	95
			IPアドレス		
			サブネットマスク		
			ゲートウェイ	有効／無効	
			DNSサーバ	有効／無効	
			設定適用		
		スタンバイモード	ノーマル／省電力		95
		PCコントロール	PC CONTROL／LAN		95
	オプション	オートパワーオン(AC)	オフ／オン		96
		オートパワーオフ	オフ／0：05／0：10／0：20／0：30		96
		スクリーントリガ	オフ／オン		96
		ファンモード	モード	自動／高地	97
			設置方向	水平／垂直	
		初期入力選択	ラスト／自動／コンピュータ1／コンピュータ2／コンピュータ3／コンポーネント／ビデオ／S-ビデオ		98
		カラー方式	ビデオ	自動判別／NTSC 3.58／NTSC 4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL 60／SECAM	98
			S－ビデオ	自動判別／NTSC 3.58／NTSC 4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL 60／SECAM	
		WXGAモード（※）	オフ／オン		98
		入力端子表示	オフ／オン		98
		コントロールID	無効／有効		98
		フィルタメッセージ	オフ／100[H]／200[H]／500[H]／1000[H]		100

（※）NP4100WJでは「オン」が工場出荷時の値です。

情報 Ⓑ	使用時間 Ⓑ	ランプ1残量(%)／ランプ2残量(%)／ランプ1使用時間(H)／ランプ2使用時間(H)／フィルタ使用時間(H)	100
	入力端子 Ⓑ	入力端子／信号名／水平同期周波数／垂直同期周波数／ビデオ標準／同期形態／同期極性／走査方式	
	LAN Ⓑ	IPアドレス／サブネットマスク／ゲートウェイ／MACアドレス	
	Version Ⓑ	Product／Serial Number／Firmware／Data	
リセット		表示中の信号	102
		全データ	
		ランプ1使用時間クリア	
		ランプ2使用時間クリア	
		フィルタ時間クリア	

6-3. 入力端子

◉ コンピュータ 1
○ コンピュータ 2
○ コンピュータ 3
○ コンポーネント
○ ビデオ
○ S-ビデオ

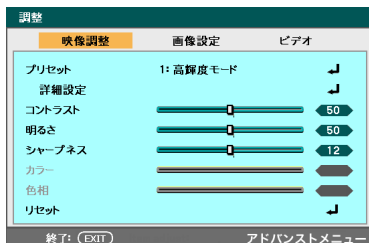
入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。
現在選択されている入力端子には「•」(ドット) を表示します。

コンピュータ1	コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ2	コンピュータ2映像入力端子 (COMPUTER 2 IN) に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ3	コンピュータ3映像入力端子 (COMPUTER 3 IN) に接続している機器の映像を投写します。
コンポーネント	コンポーネント映像入力端子 (COMPONENT IN) に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) に接続している機器の映像を投写します。
S−ビデオ	S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) に接続している機器の映像を投写します。

- コンポーネント入力信号をコンピュータ1およびコンピュータ2映像入力端子に接続している場合は、「コンピュータ1」および「コンピュータ2」を選択してください。(40ページ)
- NP4100WJにおいてXGA (1024×768ドット) 信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。XGA信号が正しく認識されない場合は、[WXGAモード] を「オフ」にしてください。(98ページ)
信号が正しく認識されているかどうかは、「情報」画面を表示して確認することができます。(100ページ)

6-4. 調整

映像調整

●プリセット

映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。
本機の工場出荷時は、プリセット項目1～6に、あらかじめ次の設定がされています。
また、お好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～6に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。

● 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。
調整値を登録するには、プリセット項目1～6のいずれかを選択し、[詳細設定] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。
ガンマ補正、色温度、BrilliantColor、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな設定ができます。

全般 — 参照

[詳細設定] のもとになるモードを選択します。

全般 — ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。
高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

全般 — BrilliantColor

白の明るさを選択します。数字 (1. 2. 3) が大きくなるに従い白が明るくなります。

ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ　赤 明るさ　緑 明るさ　青	画像の黒色を調整します。
コントラスト　赤 コントラスト　緑 コントラスト　青	画像の白色を調整します。

色補正

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ (紫)、シアン (明るい青緑) の各色の色味を調整できます。

赤	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 黄あるいはマゼンタがかった赤色に調整できます。
緑	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 黄あるいはシアンがかった緑色に調整できます。
青	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 マゼンタあるいはシアンがかった青色に調整できます。
イエロー	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 赤あるいは緑がかった黄色に調整できます。
マゼンタ	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 赤あるいは青がかったマゼンタに調整できます。
シアン	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 緑あるいは青がかったシアンに調整できます。

- [参照] で「高輝度モード」、「プレゼンテーション」を選択した場合は、[色温度]、[BrilliantColor] は選択できません。
- [ホワイトバランス] を操作した場合は、[色温度] の数値と実際の色合いが異なります。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

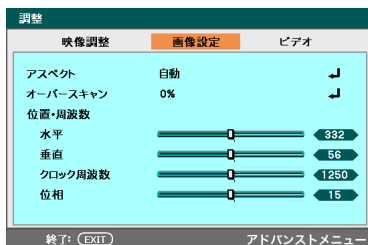
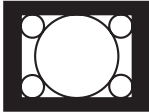
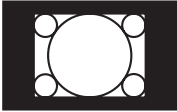
- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ（RGBアナログ）	○	○	○	×	×
コンピュータ（RGBデジタル）	○	○	○	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

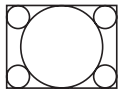
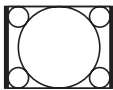
（○：調整可、×：調整不可）

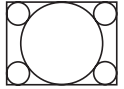
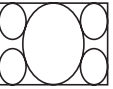
●リセット

「映像調整」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。

画像設定

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。
本機は、入力された信号を自動的に判別して最適なアスペクト比を選択します。

・パソコンの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度	アスペクト比
VGA 640 × 480	4：3
SVGA 800 × 600	4：3
XGA 1024 × 768	4：3
WXGA 1280 × 768	15：9
WXGA 1280 × 800	16：10
WXGA+ 1440 × 900	16：10
SXGA 1280 ×1024	5：4
SXGA+ 1400 ×1050	4：3
UXGA 1600 ×1200	4：3

選択項目	説　明
自動	入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。(次ページ) 入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。 誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。
4：3	4：3 のサイズで投写します。
16：9	16：9 のサイズで投写します。
15：9	15：9 のサイズで投写します。
16：10	16：10 のサイズで投写します。
ワイドズーム (NP4100J)	映像を左右に引き伸ばして投写します。映像の左端と右端は表示されません。
レターボックス (NP4100WJ)	レターボックスの信号が適切に投写されるように縦方向、横方向を均等に拡大して投写します。映像の上端と下端は表示されません。

リアル	コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。 【例1】NP4100Jに、解像度が800×600 の信号を入力したとき 【例2】NP4100WJに、解像度が800×600の信号を入力したとき 注意 ● コンピュータ以外の信号を投写しているときは「リアル」は選択できません。 ● コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度以上のときは「リアル」は選択できません。

【例】アスペクト比を適切に自動判別したときの画面イメージ

適応機種 NP4100J

●コンピュータ信号のとき

入力信号のアスペクト比	4：3	5：4	16：9	15：9	16：10
適切に自動判別したときの画面イメージ					

●ビデオ信号のとき

入力信号のアスペクト比	4：3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの画面イメージ			（注）スクイーズを適切に投写するには「16:9」または「ワイドズーム」を選択してください。

6

オンスクリーンメニュー

適応機種 NP4100WJ

●コンピュータ信号のとき

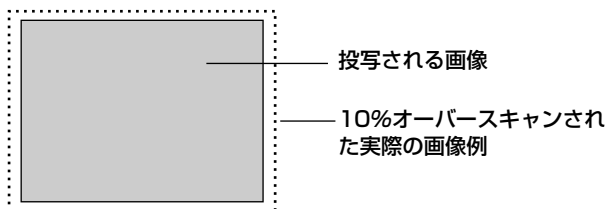
入力信号のアスペクト比	4：3	5：4	16：9	15：9	16：10
適切に自動判別したときの画面イメージ					

●ビデオ信号のとき

入力信号のアスペクト比	4：3	レターボックス	スクイーズ
自動判別したときの画面イメージ		(注)レターボックスを適切に投写するには「レターボックス」を選択してください。	(注)スクイーズを適切に投写するには「16：9」を選択してください。

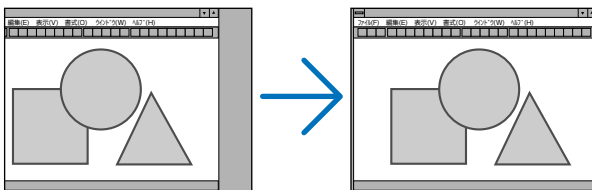
- ビデオ映像の標準アスペクト比4：3 より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ1.85：1 やシネマスコープ2.35：1 のアスペクト比があります。
- アスペクト比16：9 の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して4：3 にした映像を「スクイーズ」と呼びます。

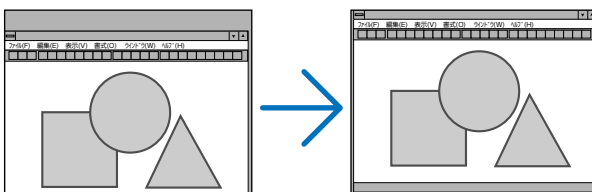
●オーバースキャン

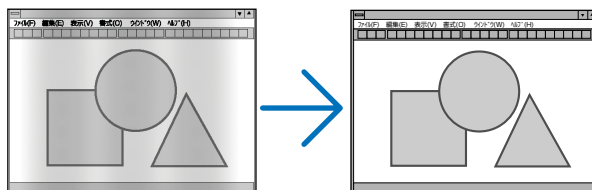
オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の割合を設定します。

- 入力信号によっては、0%を選択していても全画面表示にならない場合があります。

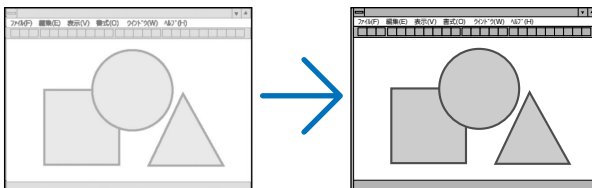
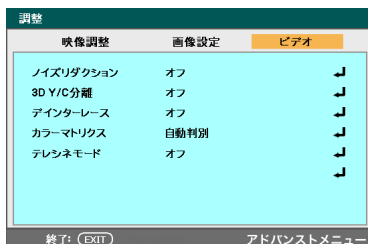
●位相・周波数

水平

画面を水平方向に移動します。

垂直

画面を垂直方向に移動します。

クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。

位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。

ビデオ

●ノイズリダクション

映像のざらつきや色彩の濁りの原因となるノイズを低減させます。

- RGB信号のときは選択できません。

●3D Y／C分離

ビデオ映像入力端子から入力された映像を投写するとき、「オン」に設定すると高画質で投写することができます。

●デインターレース

インターレース信号が入力された場合、インターレースとデインターレース（インターレース解除）を切り替えることができます。

オフ	インターレース（飛び越し走査）で投写します。
静止画	静止画を投写するときに選択します。 動画を投写すると映像がちらつきます。
ノーマルモード	動画と静止画を自動判別して鮮明な状態にします。 ジッターやノイズが目立つ場合は、「ムービー」を選択してください。
ムービー	動画を投写するときに選択します。 ジッターやノイズが多い信号に適しています。

●カラーマトリクス

信号のタイプを選択します。
RGBまたはコンポーネント信号を投写したとき、画像の色彩が不自然な場合に設定を変更します。

自動判別	信号のタイプを自動判別します。
RGB	コンピュータなどのRGB信号を投写する場合に選択します。
SDTV	DVDなどのコンポーネント信号（ハイビジョン放送仕様以外）を投写する場合に選択します。
HDTV	DVDなどのコンポーネント信号（ハイビジョン放送仕様）を投写する場合に選択します。

●テレシネモード

映画を投写しているとき、画面のちらつきやノイズを軽減させる場合に選択します。テレビ映像（インターレース信号）のときに動作します。

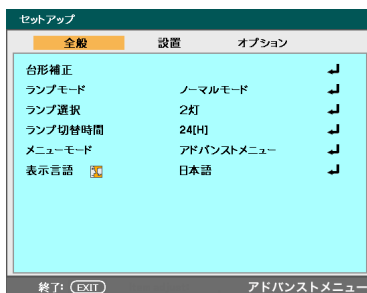
オフ	テレシネモードを切ります。
2-2/2-3自動	プルダウン変換方式を自動で検出します。
2-2オン	2-2方式のプルダウン変換を適用します。
2-3オン	2-3方式のプルダウン変換を適用します。

6-5. 音量

本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子（AUDIO OUT）から出される音声の音量を調整します。

- 工場出荷時、音量は30に設定されています。
- 音量は、メニューが表示されていないとき、本体操作部の(SELECT ◀/▶) ボタン、およびリモコンの(VOLUME +/−) ボタンでも調整できます。

6-6. セットアップ

全般

●台形補正

［台形補正］画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。
操作について詳しくは、「4-5.台形歪みを調整する」（54ページ）をご覧ください。

●ランプモード

小さいスクリーンサイズで投写して画面が明るすぎるときや、暗い室内で投写する場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ交換時間（目安）※を延ばすことができます。
操作について詳しくは、「5-4.ランプモードを切り替える」（63ページ）をご覧ください。
※保証時間ではありません。

●ランプ選択

点灯するランプを選択します。

2灯	ランプ1、ランプ2の両方を同時に点灯します。
1灯	ランプ1とランプ2のうち、直前に点灯していたほうのランプを点灯します。また、次の［ランプ切替時間］で設定した時刻にランプ1とランプ2を切り替えます。
ランプ1	ランプ1を点灯します。
ランプ2	ランプ2を点灯します。

- 本機を長時間連続運転する場合は、次のように［ランプ切替時間］を設定してください。
  - **本機を「2灯」にして連続運転する場合**
    1日につき約2時間の休止時間（ランプを消灯する時間）を設けてください。
    ［ランプ切替時間］の［モード］を選択し、［切替時刻］と［現在時刻］を設定しておくと、休止動作が自動的に行われます。
  - **本機を「1灯」にして連続運転する場合**
    「ランプ1」と「ランプ2」を24 時間以内の周期で1灯ずつ交互に点灯するようにしてください。
    ［ランプ切替時間］の［モード］を選択し、［切替時刻］と［現在時刻］を設定しておくと、切替動作が自動的に行われます。

●ランプ切替時間

［ランプ選択］において「2灯」または「1灯」を選択しているときに、ランプ1とランプ2を切り替える周期や時刻・曜日を設定します。

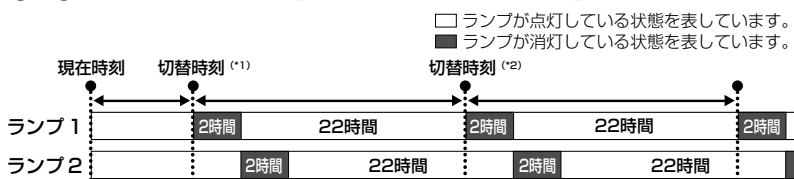
モード	・［ランプ選択］で「2灯」を選択しているとき 選択した周期で、ランプ1とランプ2を時間をずらして2時間ずつ消灯します。［切替時刻］を設定してください。 ・［ランプ選択］で「1灯」を選択しているとき 選択した周期で、ランプ1とランプ2を切り替えます。［切替時刻］を設定してください。 注意 ●「12[H]」と「1週間」は、［ランプ選択］が「1灯」のときにのみ選択できます。
切替時刻	［モード］で選択した周期が来たときに、切り替えを実行する時刻と曜日を設定します。
現在時刻	現在の時刻と曜日を設定します。

注意

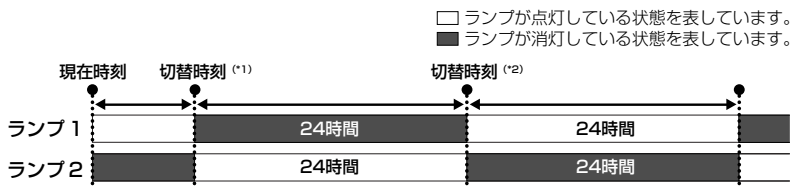
- ［ランプ選択］で「ランプ1」または「ランプ2」を選択しているときは、［ランプ切替時間］は選択できません。
- 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時に主電源スイッチを切らずに、スタンバイ状態にしておいてください。また、オンスクリーンメニューの［スタンバイモード］を「省電力」にしないでください。主電源スイッチを切ったり、［スタンバイモード］を「省電力」にすると、本機の時計機能が停止します。

参考

- ［ランプ選択］が「2灯」のときと「1灯」のときでは、ランプ切り替えの処理が次のように異なります。

【例1】［ランプ選択］が「2灯」で、［モード］が「24［H］」のとき

（※1）「現在時刻」と「切替時刻」との差が5分以下のときは、最初のランプの切り替えは実行されません。

（※2）［モード］で「12［H］」を選択すると、［切替時刻］も12時間後に更新されます。

【例2】［ランプ選択］が「1灯」で、［モード］が「24［H］」のとき

（※1）「現在時刻」と「切替時刻」との差が5分以下のときは、最初のランプの切り替えは実行されません。

（※2）［モード］で「12［H］」を選択すると、［切替時刻］も12時間後に更新されます。

●メニューモード

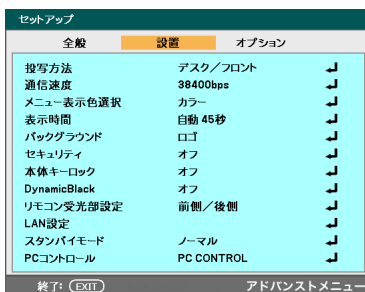
ベーシックメニューとアドバンストメニューを切り替えます。

ベーシックメニュー	基本的な項目に絞ったメニューです。
アドバンストメニュー	すべての項目を表示するメニューです。

●表示言語

メニューに表示される言語を選択します。

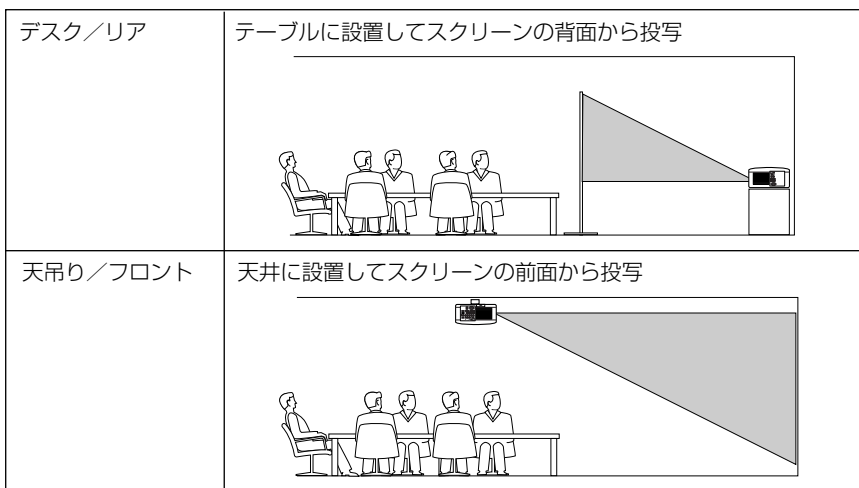
● 表示言語は、［リセット］を行っても変更されません。

設置

●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写

デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写

●通信速度

PCコントロール端子（PC CONTROL）のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

● 通信速度は、［リセット］を行っても変更されません。

●メニュー表示色選択

本機のオンスクリーンメニューの表示色（カラーまたはモノクロ）を変更します。

●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。
メニューが閉じた場合は、(MENU) ボタンを押してください。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景にNECロゴを表示

● バックグラウンドは［リセット］を行っても変更されません。

●セキュリティ

キーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
セキュリティを「オン」にすると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ映像は投写されません。
セキュリティ設定のしかたは「5-7.セキュリティを設定して無断使用を防止する」(➡67ページ)をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	キーワードを設定してセキュリティを有効にします。

- セキュリティは［リセット］を行っても解除されません。

●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体の操作ボタンが働きます。
オン	本体の操作ボタンが利かなくなります（ロック）。

- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体キーロックの解除方法
  本体の操作ボタンがロックされているときに、本体の(EXIT)ボタンを約10秒間押すと、本体キーロックの設定が解除されます。
- 本体キーロックは［リセット］を行っても解除されません。

●DynamicBlack

入力されている映像の明るさに応じて、明るさとコントラストを自動調整します。
映画などの暗い部分の再現性を高めたい場合に「オン」にしてください。

- 映像によっては、DynamicBlack機能をかけた場合に不自然になる場合があります。
- ［ランプ選択］で「2灯」を選択しているときに[DynamicBlack]は「オン」を選択できます。

●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。

●LAN設定

本機をネットワークに接続すると、HTTPサーバ機能を使って、Webブラウザから本機を操作することができます。（➡70, 72ページ）

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 本機のLANポート（LAN）にLANケーブル（Ethernetケーブル）を接続してください。（➡42ページ）

DHCP	本機を接続するネットワークが、DHCPサーバによってIPアドレスを自動的に割り当てる場合は「有効」を選択します。自動的に割り当てられない場合は「無効」を選択し、「IPアドレス」、「サブネットマスク」など必要な設定をします。
IPアドレス	本機を接続するネットワークにおける本機のIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
DNSサーバ	本機を接続するネットワークのDNSサーバのIPアドレスを設定します。
設定適用	ネットワークの接続を試みます。 IPアドレスなどの設定を変更したときなどに実行してください。

●スタンバイモード

本機のスタンバイ状態を「省電力」状態に切り替えます。

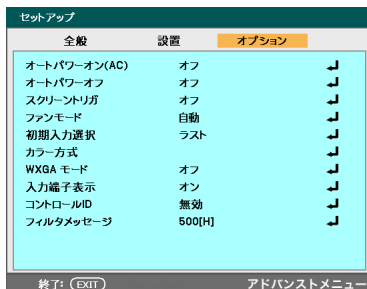
ノーマル	本機のスタンバイ状態のときにPCコントロールやモニタ出力端子が働きます。 スタンバイ状態のとき、STATUSインジケータが緑色で点灯します。
省電力	省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。 ただし、本機のスタンバイ状態のときにPCコントロールやモニタ出力端子、HTTPサーバ、メール通知機能が働かなくなります。 スタンバイ状態のとき、STATUSインジケータが消灯します。

●PCコントロール

PCコントロール（本機を外部機器から制御する）機能を行う端子を選択します。
HTTPサーバ機能やメール通知機能を使用する場合は、「LAN」を選択してください。

PC CONTROL	PCコントロール端子に接続した外部機器から本機を制御します。
LAN	LANポートに接続した外部機器から本機を制御します。

- ［スタンバイモード］を「省電力」に設定しているときは、本機のスタンバイ状態のときに外部機器からの制御ができなくなります。

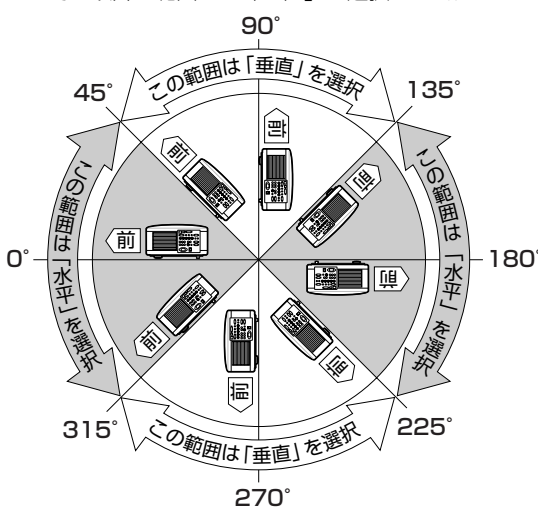
オプション

●オートパワーオン（AC）

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。
本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	電源が供給されると電源が入ります。

●オートパワーオフ

この項目で設定した時間以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05／0:10／0:20／0:30	設定した時間（5分／10分／20分／30分）以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切れスタンバイ状態になります。

●スクリーントリガ

スクリーン・トリガ端子から、スクリーンコントロールのための制御電圧を出力するか出力しないかを設定します。

オフ	制御電圧を出力しません。
オン	制御電圧を出力します。

●ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

モード	通常は「自動」を選択してください。本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。 「高地」は、標高約1500m以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。
設置方向	本機を設置している角度に応じて、「水平」と「垂直」を切り替えます。 次の図のように、45°～315°と135°～225°の範囲（灰色部分）では「水平」を、それ以外の範囲では「垂直」を選択してください。 90°　45°　135°　0°　180°　315°　225°　270° この範囲は「垂直」を選択 この範囲は「水平」を選択 前

本機を45°～135°の範囲で傾けて天吊りで使用しているときは、本機の下方に人が近づかないようにしてください。万一ランプが破裂した場合、本機からガラスの破片が落ちてくるおそれがあります。

- 標高約1500m以上の場所で本機を使用する場合は、必ず「ファンモード」を「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 「ファンモード」を「高地」に設定しないまま、標高約1500m以上の高地で本機を使用した場合、本機内部の温度が上昇し、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約1500m未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、［リセット］を行っても変更されません。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に映した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ1／コンピュータ2／コンピュータ3／コンポーネント／ビデオ／S-ビデオ	選択した入力信号を投写します。

●カラー方式

NTSCやPALなど、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。

●WXGAモード

「オン」にすると、入力信号を認識する際、XGA（1024×768ドット）よりもWXGA（1280×768ドット）信号を優先します。
［WXGAモード］を「オン」に設定しているとき、XGA（1024×768ドット）信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。その場合は［WXGAモード］を「オフ」にしてください。

● NP4100WJは、工場出荷時の設定が「オン」になっています。
NP4100Jは、工場出荷時の設定が「オフ」になっています。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。
「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

・入力信号を切り替えたときに、画面右上に［コンピュータ1］などの入力端子名を表示します。
・信号が入力されていないとき、画面右上に［無信号］と表示されます。

●コントロールID

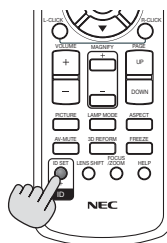
コントロールID機能があるオプションリモコンNP02RCから本機を操作する場合に設定します。
コントロールIDは複数台のプロジェクターにIDを割り振り、１個のリモコンを使用して、IDを切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作する機能です。また、複数台のプロジェクターに同じIDを設定し、１個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

無効	コントロールID 機能が無効になります。
有効	コントロールID 機能が有効になります。
コントロールID番号	本機に割り当てる番号を１～254 の中から選択します。

● コントロールID を「有効」にすると、本機のリモコンからは本機を操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。
また、オプションリモコンNP01RCなどID機能に対応していないリモコンからも操作できなくなります。

● コントロールID は、［リセット］を行っても解除されません。
● 本体の (ENTER) ボタンを10秒間押し続けると、コントロールIDを解除するメニューが表示されます。

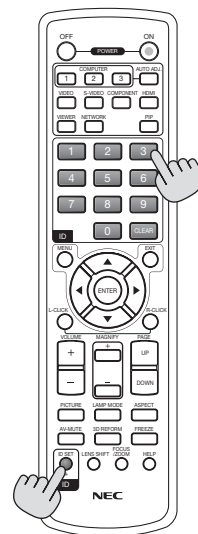
リモコンへのIDの設定／変更方法

1 ［コントロールID］画面を表示して、プロジェクターに設定されているコンロトールID番号を確認する。

2 オプションリモコンNP02RCの (ID SET) ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンのID（操作するプロジェクターと同じID番号）を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の3を押します。
IDなし（すべてのプロジェクターを一括操作）するには、000を入力するか、または (CLEAR) ボタンを押します。

● リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

3 (ID SET) ボタンを離す。

● リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくするとIDはクリアされることがあります。

●フィルタメッセージ

本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。[フィルタメッセージ] で設定した時間（500時間：工場出荷状態）を超えると、画面上にフィルタ清掃のメッセージが表示されます。
この場合はフィルタの清掃時期ですので、フィルタを清掃してください。清掃のしかたは「7-1. フィルタの清掃」（ 103ページ）をご覧ください。
フィルタの汚れかたに応じて、工場出荷状態の設定（500時間）を変更してください。例えば、フィルタの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くし、こまめに清掃してください。

オフ	フィルタ清掃のメッセージを表示しません。
100[H]／200[H]／500[H]／1000[H]	本機の使用時間が選択した時間に達すると、フィルタ清掃のメッセージを表示します。

● フィルタの清掃を行ったら、必ずフィルタ使用時間をクリアしてください。メニューの［リセット］の［フィルタ時間クリア］を選択すると、フィルタ使用時間をクリアできます。（ 102ページ）

6-7. 情報

ランプ使用時間、本機の使用時間、入力選択されている入力信号の詳細、LAN設定の状態、およびバージョン情報を表示します。

・[入力端子] ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」（ 120ページ）もあわせてご覧ください。

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプ交換時間（目安）※が異なります。

［ランプ使用時間］はランプの通算使用時間を示し、［ランプ残量］はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると、「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-4. ランプとフィルタの交換」（106ページ）をご覧ください。
- ランプ交換のメッセージは電源投入時の1分間に表示されます。
  電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- ランプ交換時間（目安）※に到達（ランプ残量0%）後、［ランプ残量］表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、［ランプ残量］表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして［ランプ残量］表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
- ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードでのみ使用（最小）	エコモードでのみ使用（最大）	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ交換時間（目安）※	2000時間	3000時間	0%

※保証時間ではありません。

6

オンスクリーンメニュー

6-8. リセット

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。
リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】
[表示言語]・[バックグラウンド]・[本体キーロック]・[セキュリティ]・[LAN設定]・[通信速度]・[スタンバイモード]・[PCコントロール]・[ファンモード]・[コントロールID]・[フィルタメッセージ]・[ランプ1/2 残量]・[ランプ1/2 使用時間]・[フィルタ使用時間]

●ランプ1/2使用時間クリア

ランプ交換を行ったときに[ランプ1残量]、[ランプ2残量]と[ランプ1使用時間]、[ランプ2使用時間]をクリアします。

● ランプ時間は、[全データ] ではクリアされません。

●フィルタ時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに[フィルタ使用時間]をクリアします。

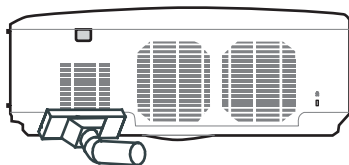
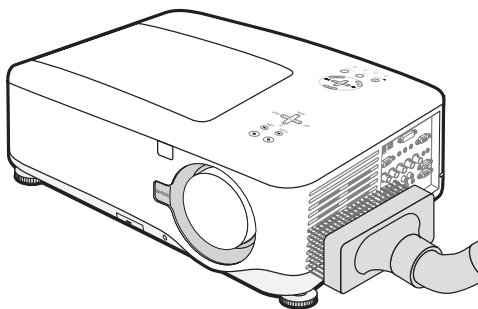
● フィルタ時間は、[全データ] ではクリアされません。

7. 本体のお手入れ／ランプの交換

7-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。
フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
オンスクリーンメニューの［フィルタメッセージ］で設定している時間（工場出荷時は500時間）だけ本機を使用すると、メッセージ「フィルタ清掃時期です。」が画面上に表示されます（100ページ）。
この場合は、次のようにフィルタを清掃してください。フィルタの清掃が終わったら、オンスクリーンメニューの［フィルタ時間クリア］を実行してください。
フィルタ清掃のメッセージは電源投入時の1分間に表示されます。

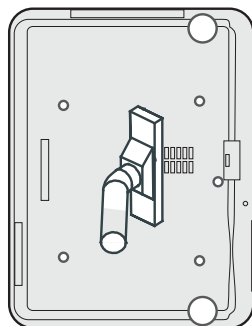
1 フィルタを清掃する。

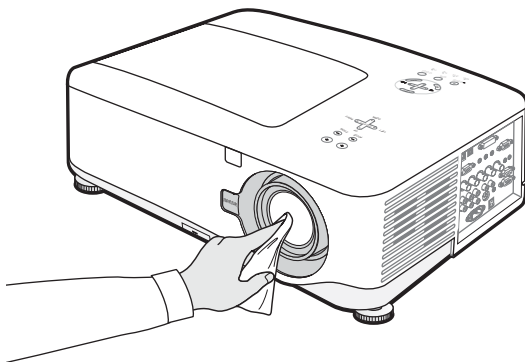
フィルタは3箇所にあります。
電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。
掃除機で吸気口越しにフィルタの清掃を行ってください（フィルタカバーを外す必要はありません）。

・本体底面にあるフィルタを清掃する場合は、図のように本機を立て、倒れないように注意して清掃してください。

2 フィルタ使用時間をクリアする。

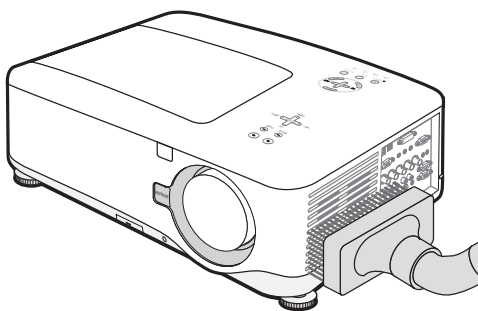
電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。
メニューの［リセット］の「フィルタ時間クリア」を選択してください。
（前ページ）

本体のお手入れ／ランプの交換

7

7-2. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。

7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。

側面の通風孔とスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。設置環境にもよりますが500時間を目安に清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間(目安)※(101ページ)を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅します。そして「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」と画面上に表示されます。
ランプ交換のメッセージは本機の電源を入れた直後の1分間に表示されます。
この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。
なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間(目安)※が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの[情報(使用時間)](100ページ)をご覧ください。

- 本機を使用する際は、必ず2つのランプを装着してください。
- ランプ1にセットして使い始めたランプをランプ2にセットしなおしたり、ランプ2にセットして使い始めたランプをランプ1にセットしなおしたりしないでください。ランプ交換時間(目安)※の積算が正しく行われません。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名NP12LPとご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルタ(3枚)が添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタ(3枚とも)も交換してください。
- 指定のネジ以外には触れないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
  また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間(目安)※に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯します。LAMP1、LAMP2の両方のインジケータが赤く点灯すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※保証時間ではありません。

	ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプとフィルタ交換の流れ

ステップ 1
ランプを交換する（このページ）

ステップ 2
フィルタを交換する（109ページ）

ステップ 3
ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする（110ページ）

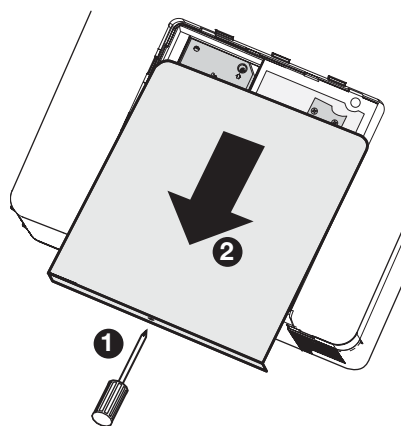
ランプを交換する

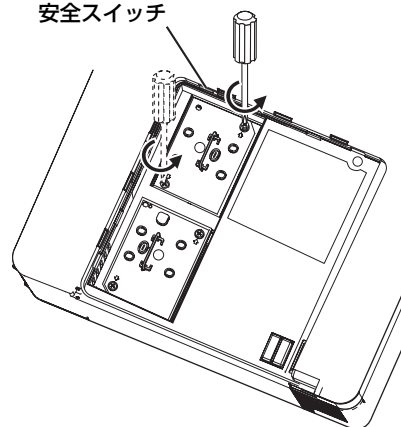
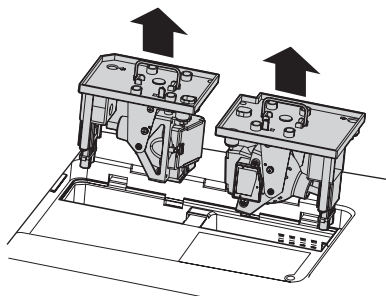
準備： プラスドライバーを用意してください。

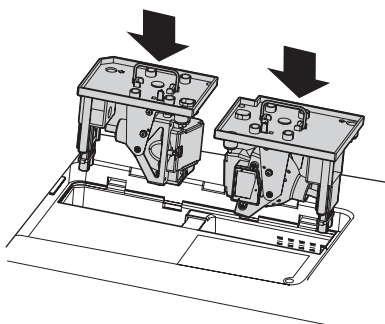
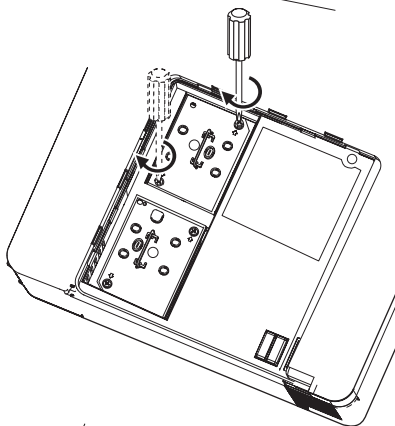
1 ランプカバーを外す。

❶ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
・ネジは外れません。

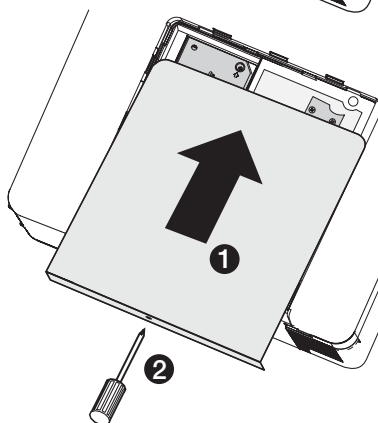
❷そのまま少し手前に引いて、ランプカバーを取り外す。

● ランプカバーを引き出すには、20cm以上の空間が必要です。

2 ランプハウスを外す。

❶ランプハウス固定のネジ（2箇所）を左に空転するまでゆるめる。
・ネジは外れません。
・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

❷ランプハウスの取っ手を持って引く。

3 新しいランプハウスを取り付ける。

❶ランプハウスを静かに入れる。
・奥まで押し込んでください。

❷ランプハウス固定のネジ（2箇所）を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

4 ランプカバーを取り付ける。

❶ランプカバーの両端を本体のガイドに沿わせて取り付ける。

❷ランプカバーネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。
続いてフィルタを交換してください。

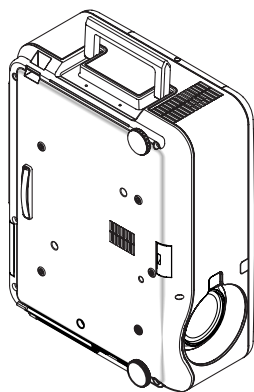
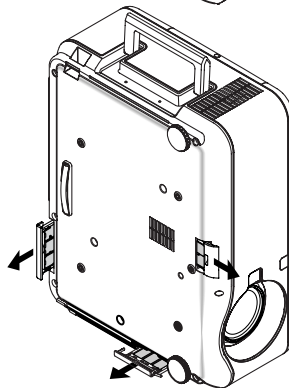
- ランプ交換時間（目安）※（ 101ページ）に到達後100時間を超えて使用すると、LAMP1/2インジケータが赤く点灯します。
  LAMP1、LAMP2の両方のインジケータが赤く点灯すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(HELP) ボタンを10秒以上押すことでランプ1/2残量とランプ1/2使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、LAMP1/2インジケータが消灯することで確認できます。
  ※保証時間ではありません。

フィルタを交換する

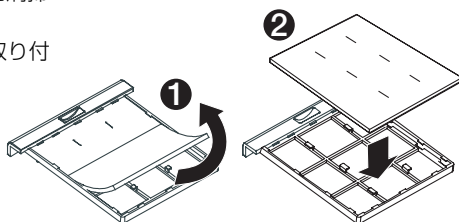
- フィルタは、3箇所とも同時期に交換してください。
- フィルタを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。
- 必ずフィルタカバーを正しく取り付けてください。カバーを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください。（ 107ページ）

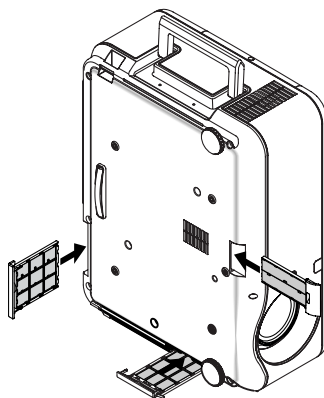
1 本機を立てる。

- 本機が倒れないように十分注意してください。
  不安定な台の上などには置かないでください。
- フィルタは3箇所あります。3箇所とも同時に交換してください。

3 フィルタを交換する。

❶ フィルタを外して、フィルタカバーを清掃する。

❷ 新しいフィルタをフィルタカバーに取り付ける。

4 フィルタカバーを取り付ける。

・「カチッ」と音がしてフィルタカバーが固定されるまで差し込みます。

これで、フィルタ交換が終わりました。
続いてランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアしてください。

ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする

1 本機を投写する場所に設置する。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

3 ランプ使用時間やフィルタ使用時間をクリアする。

❶ オンスクリーンメニューの［リセット］で［ランプ1使用時間クリア］または［ランプ2使用時間クリア］を実行してください。

❷ 続いて［フィルタ時間クリア］を実行してください。（ 102ページ）

8. 付　録

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはNECプロジェクター･カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	43
	主電源スイッチは「Ｉ（入）」になっていますか。	45
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	108, 119
	2つのランプが正しく取り付けられていますか。	107
	ランプ1とランプ2の両方ともランプ交換時間（目安）※を超えて使用していませんか。 2つとも新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの(HELP)ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ1/2使用時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	101
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	116
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「オートパワーオフ」を「オン（時間を選択）」にしていませんか。	96
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。	47
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	36～41
	［調整］のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	83
	RGB（コンピュータ1,2,3）入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	120
	RGB（コンピュータ1,2,3）入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	56, 87
	カラーホイールが正しく取り付けられていますか。	117
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、113ページをご覧ください。	―
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	77～79
	それでも解決しない場合は、［リセット］を行ってみてください。	102

次ページに続く

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	セキュリティがオンになっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力しないと映像は投写されません。	68
映像が歪む	正しく設置されていますか。	49
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	54
	NP4100WJにおいてXGA（1024×768ドット）信号を入力すると、正しく認識されない場合があります。XGA信号が正しく認識されない場合は、［WXGAモード］を「オフ」にしてください。 信号が正しく認識されているかどうかは、「情報」画面を表示して確認することができます。（100ページ）	98
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	51
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	53
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	28,29
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	RGB（コンピュータ1,2,3）の場合は、本体の(AUTO ADJUST)ボタンまたはリモコンの(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。	56
映像の色が悪い	本機がスタンバイ状態のままカラーホイールを交換していませんか。 カラーホイールを交換する際は、必ず主電源スイッチを切ってから行ってください。 スタンバイ状態のままカラーホイールを交換すると、投写したときに色が異常になります。その場合は、電源を切り主電源スイッチを入れなおしてください。	117
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB（コンピュータ1,2,3）入力の場合、［位置・周波数（水平、垂直）］を正しく調整しましたか。	87
	RGB（コンピュータ1,2,3）入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	120
RGB（コンピュータ1,2）入力で文字がチラついたり色がずれている	(AUTO ADJ.)ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューの［クロック周波数］と［位相］を調整してください。	56 87
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	26
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	26
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	26
	本体のリモコン受光部を前面のみ、または後面のみに切り替えていませんか。	94

このようなとき	確認してください	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	26
	リモート2端子（REMOTE2）にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。	27
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、別売のマウスレシーバをパソコンに接続してください。	65
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	115
パソコンから本機をコントロールできない	オンスクリーンメニューの［PCコントロール］で適切な端子を選択していますか。	95

パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機をRGB信号ケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、パソコンを起動してください。
特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、［情報］の［水平同期周波数］を確認してください。
  水平同期周波数が「－－－」と表示されているときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません。（100ページ）

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

- Windowsのノートパソコンの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
  Fn キーを押したまま（ ）などの絵表示や（LCD/VGA）の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
  通常、キーを押すごとに「外部出力」→「パソコン画面と外部の同時出力」→「パソコン画面」…とくり返します。

次ページに続く

【パソコンメーカーとキー操作の例】

キー操作	メーカー
Fn + F3	NEC、Panasonic、GATEWAY、SOTEC
Fn + F4	HP
Fn + F5	TOSHIBA、SHARP、MITSUBISHI
Fn + F7	SONY、IBM、Lenovo、HITACHI
Fn + F8	DELL、EPSON
Fn + F10	FUJITSU

表に記載されていないメーカーのノートパソコンをお使いの場合は、ノートパソコンのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。
多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。
上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

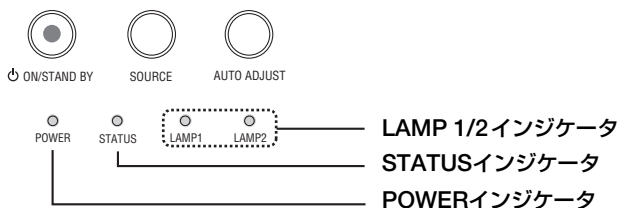
●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。

●POWERインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源が切れている	—
点滅	緑色	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし または、スタンバイ状態(省電力)	—
点滅	赤色(1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(108,119ページ)
	赤色(2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。(次ページ)
	赤色(4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NECプロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
点灯	緑色	スタンバイ状態(ノーマルモード)	—
	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。(94ページ)

●LAMP1/2インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプを交換してください。(106ページ)
	赤色(1回周期)	ランプなし	ランプが装着されていません。
	赤色(6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合はNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
点滅	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	ランプ冷却中	ランプ1とランプ2を切り替えています。しばらくお待ちください。
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。（ 106ページ）
	オレンジ色	ランプエコモード	—
	緑色	ランプノーマルモード	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが点滅します（2回点滅の繰り返し）。
同時に本機の「温度プロテクタ」機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下のことを行ってください。

- 冷却ファンの回転が終了したら、主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。（105ページ）
- 本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

カラーホイールの交換方法

本機の工場出荷時は、カラーホイール（4 Segment）が装着されています。
添付のカラーホイール（6 Segment）と交換する場合は次の手順で行ってください。

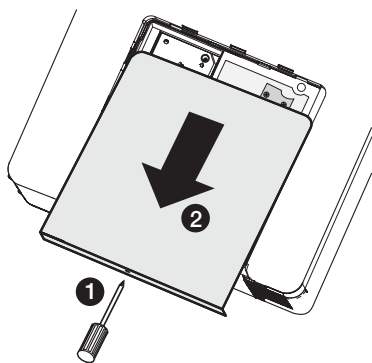
⚠注意	カラーホイールの交換は、電源を切りしばらく待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約1時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にカラーホイールを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

- カラーホイールのディスク部分は触らないでください。
  ディスクが傷ついたり、ディスクに指紋などが付着したりすると、画質が低下します。
- 本機を複数台お持ちのお客様は、次の点にご注意ください。
  本機に取り付けているカラーホイールを交換する際は、必ず本機に添付しているカラーホイールを取り付けてください。また、もとのカラーホイールに戻す場合は、交換の際に取り外したカラーホイールを再び取り付けてください。
  別の本体に添付されているカラーホイール、および別な本体から取り外したカラーホイールを本機に取り付けると、十分な性能を発揮しない場合があります。
- カラーホイールを交換する際は、必ず主電源スイッチを切ってから行ってください。
  スタンバイ状態のままカラーホイールを交換すると、投写したときに色が異常になります。その場合は、電源を切り主電源スイッチを入れなおしてください。

準備：プラスドライバーを用意してください。

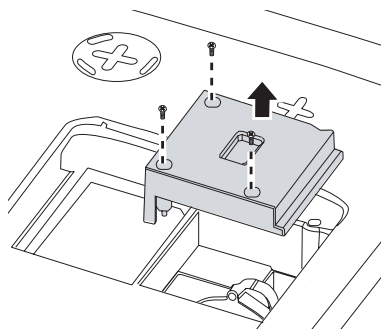
1 ランプカバーを外す。

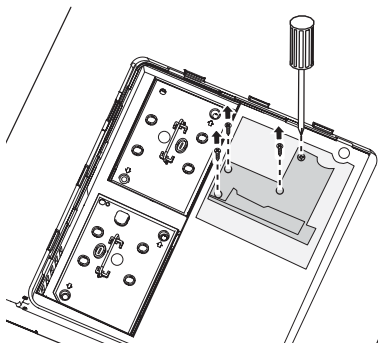
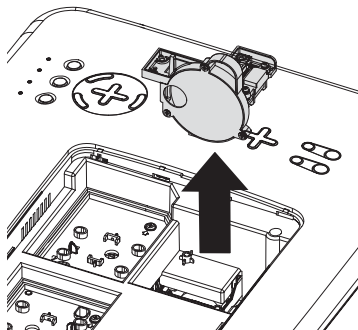
❶ランプカバーネジを左に空転するまでゆるめる。
ネジは外れません。
❷そのまま少し手前に引いて、ランプカバーを取り外す。

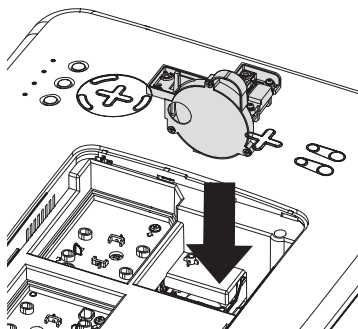
- ランプカバーを引き出すには、20cm以上の空間が必要です。

2 カラーホイールカバーを外す。

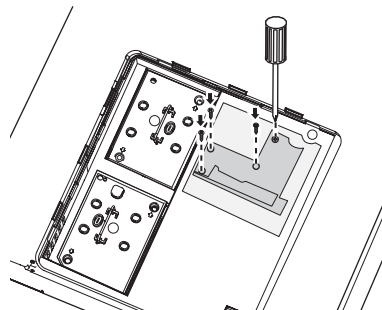
❶カラーホイールカバーのネジを左に回して取り外す。
❷カラーホイールカバーを引き上げる。
❸カラーホイールの周囲を清掃して、ごみやほこりを取り除く。

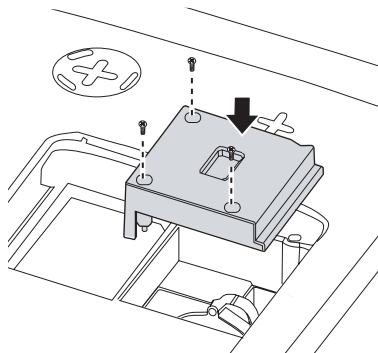
付録

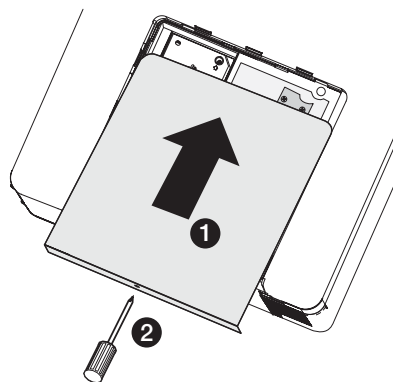
8

3 カラーホイール（4 Segment）を外す。

❶カラーホイールの固定ネジを左に回して取り外す。

❷カラーホイール（4 Segment）を引き上げる。

4 カラーホイール（6 Segment）を取り付ける。

❶カラーホイール（6 Segment）を挿入する。

❷カラーホイール固定ネジを右に回してしめる。

・ネジは確実にしめてください。

5 カラーホイールカバーを取り付ける。

❶カラーホイールカバーを取り付ける。
❷カラーホイールカバーのネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

6 ランプカバーを取り付ける。

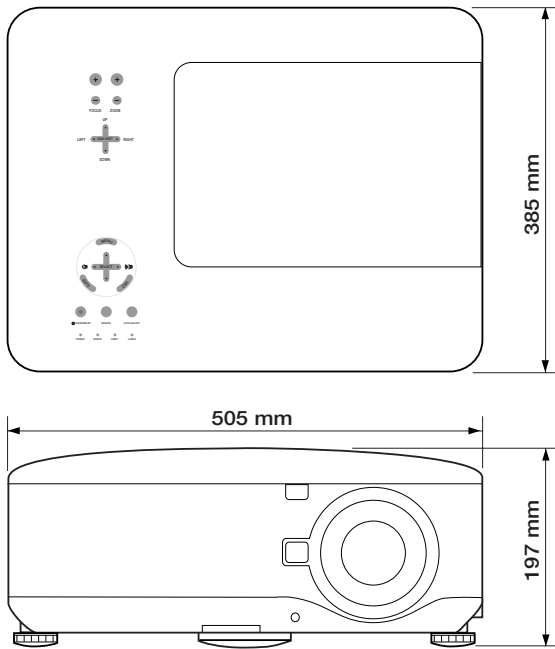
❶ランプカバーの両端を本体のガイドに沿わせて取り付ける。
❷ランプカバーネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

● 取り外したカラーホイールは、必ず添付の袋に入れて保管してください。カラーホイールの内部にほこりやゴミが入ると、画質の低下や故障の原因となります。

対応解像度一覧

水平走査周波数：15kHz、31kHz～90kHz（RGB入力は31kHz以上）
垂直走査周波数：50Hz～85Hz

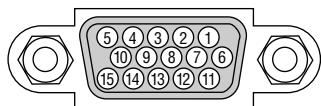
信号		解像度			走査周波数	
					水平（kHz）	垂直（Hz）
NTSC			－		15.73	60.00
PAL			－		15.63	50.00
PAL60			－		15.73	60.00
SECAM			－		15.63	50.00
VESA	D	640	×	480	31.47	59.94
MAC	D	640	×	480	35.00	66.67
VESA	D	640	×	480	37.86	72.81
VESA	D	640	×	480	37.50	75.00
VESA	D	640	×	480	43.27	85.01
VESA	D	800	×	600	35.16	56.25
VESA	D	800	×	600	37.88	60.32
VESA	D	800	×	600	48.08	72.19
VESA	D	800	×	600	46.88	75.00
VESA	D	800	×	600	53.67	85.06
MAC	D	832	×	624	49.72	74.55
VESA	D	1024	×	768	48.36	60.00
VESA	D	1024	×	768	56.48	70.07
MAC	D	1024	×	768	60.24	74.93
VESA	D	1024	×	768	60.02	75.03
VESA	D	1024	×	768	68.68	85.00
VESA	D	1152	×	864	67.50	75.00
VESA	D	1280	×	768 ※	47.8	60
VESA	D	1280	×	768 ※	60.3	75
VESA	D	1280	×	768 ※	68.6	85
VESA	D	1280	×	800 ※	49.7	60
VESA	D	1280	×	800 ※	62.8	75
VESA	D	1280	×	800 ※	71.6	85
VESA	D	1280	×	960	60.00	60.00
VESA	D	1280	×	1024	63.98	60.02
VESA	D	1400	×	1050	65.30	60.00
VESA	D	1440	×	900 ※	55.9	60
VESA	D	1440	×	900 ※	70.6	75
HDTV(1080i)(1125i)		1920	×	1080	33.75	60.00 Interlace
HDTV(1080i)(1125i)		1920	×	1080	28.13	50.00 Interlace
HDTV(720p)(750p)		1280	×	720	45.00	60.00 Progressive
HDTV(720p)		1280	×	720	37.50	50.00 Progressive
SDTV(576p)(625p)			－		31.25	50.00 Progressive
SDTV(480p)(525p)			－		31.47	59.94 Progressive
DVD YCbCr			－		15.73	59.94 Interlaced
DVD YCbCr			－		15.63	50.00 Interlaced

- D：信号名の右側に「D」と表示されているものは、デジタル信号を表示できます。
- ※：解像度の右側に「※」と表示されているものは、NP4100WJのみ対応しています。
- 出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ワークステーションとの接続に関しての詳細は、当社にお問い合わせください。
- コンポジット同期信号やSync on G信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。
- 解像度が本機の画素数（NP4100Jは1024×768ドット、NP4100WJは1280×800ドット）と異なる信号は、圧縮または拡大されて投写されます。その場合、文字や罫線の太さなどが不均一になることがあります。
- 正常に表示できない場合は、パソコンの解像度を変更してください。

外観図

別売品

商　品　名		形　名
ランプ	交換用ランプ	NP12LP
天吊り金具	天井取付けユニット	NP06CM
レンズ	短焦点固定レンズ	NP06FL
	ズームレンズ	NP07ZL
	ズームレンズ	NP08ZL
	ズームレンズ	NP09ZL
	ズームレンズ	NP10ZL

コンピュータ1 映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル

信号レベル

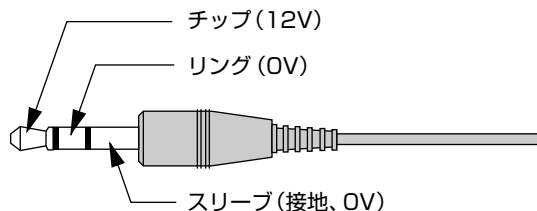
ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号　：TTLレベル

ピン番号	RGB信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接　地	
5	接　地	
6	赤　　接　地	Cr　接　地
7	緑　　接　地	Y　接　地
8	青　　接　地	Cb　接　地
9	非接続	
10	同期信号　　接　地	
11	SCART同期入力	
12	Bi-directional DATA（SDA）	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

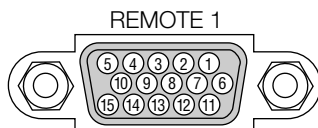
スクリーン・トリガ端子の仕様

本機には、スクリーンをコントロールするための制御電圧を出力する、スクリーン・トリガ端子があります。

・スクリーン・トリガ端子を有効にするには、本機のメニューの［セットアップ］→［オプション］の［スクリーントリガ］を「オン」にします（96ページ）。
・市販のステレオミニケーブルを使用して、本機のスクリーン・トリガ端子と、市販のスクリーンコントロール機器を接続します。詳しくは、スクリーン・メーカーにお問い合わせください。

・本機のスクリーン・トリガ端子から出力される制御電圧は次のとおりです。

● スクリーン・トリガ端子は、スクリーンコントロール以外の目的では使用しないでください。
誤ってリモコンケーブルを接続すると、リモコンが故障します。

リモート1端子の仕様（外部コントロール）

リモート１端子（REMOTE1）は、外部から本機をコントロールする場合に使用します。

ピンNo.	SHORT/OPEN				機能
14	SHORT				外部コントロールモードON
	OPEN				外部コントロールモードOFF
5	SHORT				電源ON
	OPEN				電源OFF
10	SHORT				映像ミュートON
	OPEN				映像ミュートOFF
3	SHORT				音声ミュートON
	OPEN				音声ミュートOFF
4,8,12,11	11	12	8	4	
	OPEN	OPEN	OPEN	OPEN	COMPUTER1
	OPEN	OPEN	OPEN	SHORT	VIDEO
	OPEN	OPEN	SHORT	OPEN	S-VIDEO
	OPEN	OPEN	SHORT	SHORT	COMPONENT
	OPEN	SHORT	OPEN	SHORT	COMPUTER2
	SHORT	OPEN	OPEN	OPEN	COMPUTER3

・“SHORT”は15番ピン（接地）と接続します。

仕様

●プロジェクター本体

	形名		NP4100J	NP4100WJ
	方式		単板DLP方式	
主要部品仕様	DLPチップ	サイズ	0.7型（アスペクト比 4:3）	0.65型（アスペクト比 16:10）
		画素数(*1)	786,432画素 （1024ドット×768ライン）	1,024,000画素 （1280ドット×800ライン）
	投写レンズ	NP06FL	電動フォーカス（投写比 0.77：1、F2.0、 f=11.4mm）	
		NP07ZL	電動ズーム、電動フォーカス（投写比 1.33〜1.79：1、F1.8〜2.3、 f=19.3〜25.8mm）	
		NP08ZL	電動ズーム、電動フォーカス（投写比 1.78〜2.35：1、F1.7〜1.9、 f=26〜34mm）	
		NP09ZL	電動ズーム、電動フォーカス（投写比 2.22〜4.43：1、F2.1〜2.9、 f=32〜63mm）	
		NP10ZL	電動ズーム、電動フォーカス（投写比 4.43〜8.3：1、F2.2〜3.1、 f=63.5〜117.4mm）	
			電動レンズシフト（NP07ZL、NP08ZL、NP09ZL、NP10ZL）	
	光源		280W ACランプ（ランプエコモード時230W）	
	光学装置		カラーフィルタ回転による色分離	
	明るさ(*2)		6200 lm（2灯時）(*3)	5500 lm（2灯時）(*3)
	コントラスト比(*2)(全白/全黒)		1000：1（2100：1 (DynamicBlack「オン」のとき)）	
	画面サイズ（投写距離）	NP06FL	50〜200型（0.78〜3.24m）	50〜200型（0.84〜3.48m）
		NP07ZL	40〜500型（1.06〜18.56m）	40〜500型（1.14〜19.93m）
		NP08ZL	40〜500型（1.42〜24.35m）	40〜500型（1.53〜26.16m）
		NP09ZL	40〜500型（1.76〜46.41m）	40〜500型（1.90〜49.86m）
		NP10ZL	40〜500型（3.54〜86.36m）	40〜500型（3.81〜92.52m）
	色再現性		フルカラー1,677万色	
	音声出力		3W　ステレオスピーカ内蔵	
	走査周波数	水平	15kHz、31〜90kHz（RGB入力は31kHz以上）	
		垂直	50〜85Hz	
	主な調整機能		入力信号切り替え（コンピュータ/ビデオ/S-ビデオ）、画像自動調整、 画面拡大、台形補正、画面位置調整、ミュート（映像/音声とも）、 電源オン/オフ、オンスクリーン表示/選択など	
	最大表示解像度（横×縦）	アナログ信号	1600×1200 (*4)	
		デジタル信号	1400×1050 (60Hz) (*4)	1440×900（75Hz) (*4)
入力信号	R,G,B,H,V		RGB：0.7Vp-p / 75Ω	
			H/V Sync：TTL	
			Composite Sync：TTL	
			Sync on G：1.0Vp-p / 75Ω (With Sync) 負極性	
	コンポジットビデオ		75Ω　1.0Vp-p	
	S-ビデオ		Y：75Ω　1.0Vp-p	
			C：75Ω　0.286Vp-p	
	コンポーネント		Y：1.0Vp-p / 75Ω (With Sync)	
			Cb,Cr（Pb, Pr）：0.7Vp-p／75Ω	
			DTV：480i、480p、750p、1080i（60Hz）、 576i、576p、720p、1080i（50Hz） DVD：プログレッシブ信号 (50/60Hz)	
	音声		0.5Vrms / 22kΩ以上	
入出力端子	コンピュータ	映像入力	ミニD-Sub 15ピン×1、BNC端子×5	
		映像出力	ミニD-Sub 15ピン×1	
		音声入力	ステレオミニジャック×1	
	DVI-D	映像入力	DVI-D 24ピン×1（HDCP対応 (*5)）	
		音声入力	ステレオミニジャック×1	
	コンポーネント	映像入力	RCA (Y/Cb/Cr)×1	
		音声入力	RCA (RCA L/MONO, R)×1	
	ビデオ	映像入力	RCA×1	
		音声入力	RCA (RCA L/MONO, R)×1	
	S-ビデオ	映像入力	ミニDIN 4ピン×1	
		音声入力	（ビデオの音声入力端子と共通）	
	音声出力		ステレオミニジャック×1	
	PCコントロール端子		D-Sub 9ピン×1	

入出力端子	リモート1		ミニD-Sub 15ピン×1
	スクリーン・トリガ		ステレオミニジャック×1
	USBポート		タイプB×1（サービス用）
	LANポート		RJ-45×1
	使用環境		動作温度：5〜40℃　　動作湿度：20〜80%（ただし結露しないこと）
			保存温度：－10〜50℃　保存湿度：20〜80%（ただし結露しないこと）
	電源		AC 100V 50/60Hz（*6）
	消費電力	2灯時	ランプノーマルモード時 710W／ランプエコモード時 580W
		1灯時	ランプノーマルモード時 375W／ランプエコモード時 315W
	スタンバイ時消費電力		1W（省電力時）
	定格入力電流		7.5A
	外形寸法		505(幅)×197(高)×385(奥行)mm（突起部含まず）
	質量		約17.5kg（レンズユニットは含まず）

（*1）：有効画素数は99.99%です。

（*2）：出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。

（*3）：カラーホイール（4 Segment）を装着時に、レンズユニットNP08ZLを使用し、ランプモードが「ノーマルモード」で、プリセットが「高輝度モード」のときの明るさです。
ランプモードを「エコモード」にすると、明るさが約85%に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

（*4）：圧縮して表示。

（*5）：HDCP/HDCP技術とは？
HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。
本機には、DVI-D入力端子を装備しています。
本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。
ただし、HDCPの規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、DVI-D入力端子の映像が表示されないことがあります。

（*6）：高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

・USBポートはUSB規格Ver1.1に準拠。

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNECプロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。
※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度　□常時　□時々（　　回中　　回）　□その他（　　　　　　　　　　）

電源関係

- □電源が入らない（POWERインジケータが緑色に点灯しない）。
  - □電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □主電源スイッチは「入」になっている。
  - □ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。
  - □(POWER) ボタンを2秒以上押しても電源が入らない。
- □使用中、電源が切れる。
  - □電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
  - □ランプカバーは正しく取り付けられている。
  - □オートパワーオフは「オフ」に設定されている。

映像・音声関係

- □パソコンの画面が投写されない。
  - □パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。
  - □ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。
    IBM PC/AT互換機の場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（パソコンによって異なります）。
- □映像が出ない（ブルーバック・ロゴ・表示なし）。
  - □(AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。
  - □［リセット］を実行してもなおらない。
  - □入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
  - □画面に何かメッセージが出ている。
    （　　　　　　　　　　　　　　　　）
  - □接続している入力を選択している。
  - □明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
  - □入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □映像が暗い。
  - □明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □映像が歪む。
  - □台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。
- □映像が切れる。
  - □(AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。
  - □［リセット］を実行してもなおらない。
  - □水平または垂直方向に映像がずれる。
  - □コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。
  - □入力は対応している解像度・周波数の信号である。
  - □数ドット欠けている。
- □映像がちらつく。
  - □(AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。
  - □［リセット］を実行してもなおらない。
  - □コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。
- □映像がぼやける・フォーカスが合わない。
- □音声が出ない。
  - □音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
  - □音量を調整してもなおらない。

その他

- □リモコンが利かない。
  - □リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
  - □蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- □本体操作パネルのボタンが利かない。
  ［本体キーロック］設定のある機種において
  - □本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。
  - □本体の (EXIT) ボタンを10秒以上押してもなおらない。

索引

数字／アルファベット

五十音

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

付録

8

●商標について

・ViewLight、ビューライトは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
・DLP (Digital Light Processing) はテキサス・インスツルメンツの登録商標です。
・BrilliantColor、DynamicBlackはテキサス・インスツルメンツの商標です。
・IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
・Macintosh、PowerBookは、米国Apple, Inc.の商標です。
・Microsoft、Windows、PowerPoint、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・PJLink商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
・その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

本体	お買い上げ日から1年間です。
本体に付属のランプ	次の(1)と(2)の早いほうまでです。 (1) お買い上げから6か月間。 (2) ランプ残量(➡100ページ)が50%になるまで。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はNECプロジェクター・カスタマサポートセンターにお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(➡111ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(➡126、127ページ)で現象を確認してください。
その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NECプロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従ってNECプロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	NECデータプロジェクター
形　名	NP4100J/NP4100WJ
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎(　　)　　−

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

・ **技術料**
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

・ **部品代**
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

・ **引取費用**
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターのトータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

● NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフがお受けいたします。

TEL 0120-610-161　**FAX 0120-134-516**

受付時間　9:00〜18:00（土・日・祝日、その他特定日を除く）
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ　**http://www.nec-display.com/support/projector/**

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料

●より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行うユーザーサポートクラブです。

入会方法　本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ　**http://www.nec-display.com/support/projector/vlclub/**

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター･カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社

7N8P9242